

(5) 盆栽

本調査では、盆栽への興味関心や経験の有無等の把握を目的として2万人にウェブアンケート調査を実施した。

アンケートでは、盆栽を育てたことがある、あるいは盆栽園を営んでいたような経験者、イベント等で盆栽体験をした体験者、盆栽を育てる等の経験が全くない未経験者がいることが想定されることから、盆栽の経験・体験の有無について回答する設問を設けた。その上で、下記の表のように経験の深度に応じた専用の設問群を設けることで、各回答者の盆栽への興味関心の有無などの把握を行った。

■分野設問の項目

<p>「1. 盆栽を育てている (いた)、あるいは盆栽園を営んでいる (いた)」と回答した者への設問</p>	<p>E Q 1 : 盆栽を育て始めたきっかけ E Q 2 : 盆栽を始めた当初に育て方や剪定の仕方 を学んだ方法 E Q 2 補問 : 育て方や剪定の仕方を学んだ方法を選 んだ理由 E Q 3 : 現在の継続状況 E Q 3 補問 1 : 盆栽を続けている理由 E Q 3 補問 2 : 盆栽から離れたきっかけや理由 E Q 4 : 盆栽を続けている (続けていた) 年数 E Q 5 : 盆栽に関する活動内容 E Q 6 : 盆栽に関する活動頻度 E Q 7 : 盆栽に関する月額費用 E Q 8 : 盆栽に関する興味関心や魅力</p>
<p>「2. イベント等で盆栽体験をしたことはある」と回答した者への設問</p>	<p>E Q 9 : 盆栽を体験したきっかけ E Q 10 : 盆栽を体験した場 E Q 11 : 盆栽を育てやすい状況 E Q 12 : 盆栽に支払える月額費用 E Q 13 : 盆栽を育てていない理由 E Q 14 : 盆栽に対する印象やイメージ E Q 15 : 盆栽に関する興味関心や魅力</p>
<p>「3. 盆栽を育てたり盆栽体験をしたりしたことはない」と回答した者への設問</p>	<p>E Q 16 : 参加してみたい盆栽の体験内容 E Q 17 : 参加しやすい盆栽の体験条件 E Q 18 : 盆栽を体験したことがない理由 E Q 19 : 盆栽に対する印象やイメージ E Q 20 : 盆栽に関する興味関心や魅力</p>

①単純集計の結果について

■全調査対象者への設問

盆栽を育てたことがある者、あるいは全く育てたことがない者がどの程度いるのかは、統計調査等では明らかとなっていない。加えて、盆栽の「経験」にも深度があり、盆栽を育てたり盆栽園を営んでいたなどの経験がある者や、イベント等で盆栽の体験をしたことがある者等がいると想定される。経験の有無を大別するならば、盆栽を趣味あるいは職業として育てたことがある者、イベント等で体験をした者、そして盆栽等の経験がない者に分けることができると考えられる。

本設問では、上記の想定に基づき、盆栽の経験の有無とあわせて、経験の深度を図る選択肢を設けて、実態の把握を行った。

盆栽の経験の有無

経験率を見ると、「盆栽を育てている（いた）、あるいは盆栽園を営んでいる（いた）」（以下、「経験あり」）比率は 3.0%（598 人）、「イベント等で盆栽体験をしたことはある」（以下、「参加体験あり」） 4.4%（887 人）、「盆栽を育てたり盆栽体験をしたりしたことはない」（以下「未経験」） 92.6%（18,515 人）となった。

男女別では、男性で「経験あり」、「参加体験あり」と回答した者の回答比率がそれぞれ全体平均を上回っており、若干男性が多い。

年齢別では、18～20代と70代以上の回答比率が高く、中間の現役世代が、50代を底に、低くなっている。

		n=	(%)		
			盆栽を育てている(いた)、 あるいは盆栽園を 営んでいる(いた)	イベント等で盆栽体験を したことはある	盆栽を育てたり盆栽体験を したりしたことはない
全体		20,000	3.0	4.4	92.6
性別	男	9,645	4.0	5.0	91.0
	女	10,202	2.1	3.9	94.0
	それ以外／答えたくない	153	0.7	2.0	97.4
年齢	18～20代	2,781	3.3	5.5	91.2
	30代	2,691	2.5	3.9	93.6
	40代	3,496	1.7	4.0	94.3
	50代	3,178	1.5	3.1	95.4
	60代	3,002	2.6	4.1	93.4
	70代以上	4,852	5.2	5.5	89.2

集計表 F Q 5 : 盆栽の経験の有無

■「盆栽を育てている（いた）、あるいは盆栽園を営んでいる（いた）」と回答した者への設問（EQ1～EQ8）

本設問群では、盆栽を育てたことがあると回答した者が、どのようなきっかけや機会に盆栽を育てるようになったのか、また、興味関心を持っているのか等、経験の実態を把握するためのアンケートを実施した。

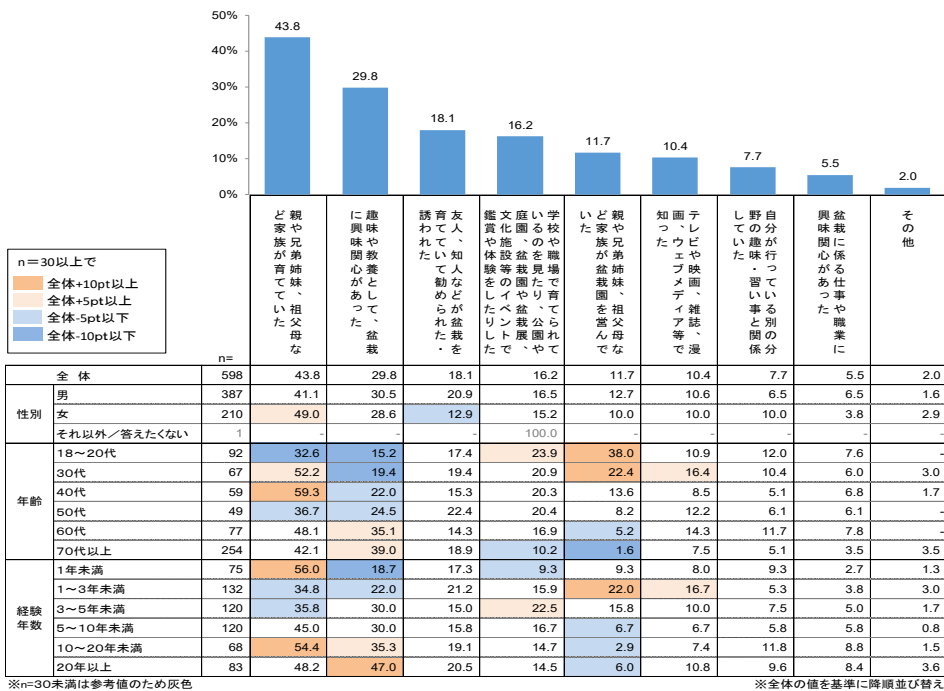
盆栽を育て始めたきっかけ

全体平均で最も回答比率が高いのは「親や兄弟姉妹、祖父母など家族が育てていた」の43.8%で、次いで「趣味や教養として、盆栽に興味関心があった」29.8%、「友人、知人などが盆栽を育てていて勧められた・誘われた」18.1%、「学校や職場で育てられているのを見たり、公園や庭園、盆栽園や盆栽展、文化施設等のイベントで鑑賞や体験をしたりした」16.2%と続く。

全体平均の回答比率と男女別、年齢別、経験年数別の回答比率とを比較すると、まず男女別では、女性で「親や兄弟姉妹、祖父母など家族が育てていた」(49.0%)の回答比率が高く、「友人、知人などが盆栽を育てていて勧められた・誘われた」(12.9%)が低い。

次に年齢別で見ると、年齢が高いほど「趣味や教養として、盆栽に興味関心があった」の回答比率が高く、「親や兄弟姉妹、祖父母など家族が盆栽園を営んでいた」、「学校や職場で育てられているのを見たり、公園や庭園、盆栽園や盆栽展、文化施設等のイベントで鑑賞や体験をしたりした」の回答比率が低くなる傾向が見られる。

経験年数別で見ると、「趣味や教養として、盆栽に興味関心があった」については、経験年数が長いほど回答比率が高まる傾向が見られる。



集計表 EQ1：盆栽を育て始めたきっかけ

(その他の内容) 盆栽が好きだった、園芸店で見て一目惚れ、プレゼントされた

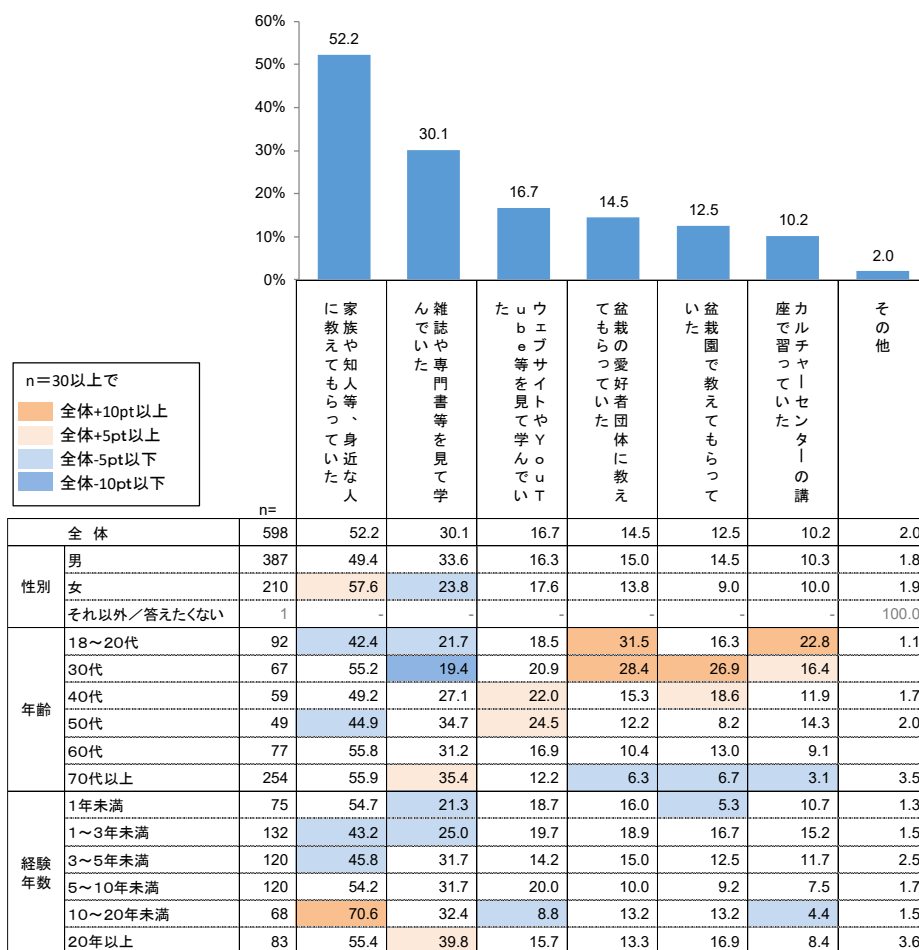
盆栽を始めた当初に育て方や剪定の仕方を学んだ方法

全体平均で最も回答比率が高いのは「家族や知人等、身近な人に教えてもらっていた」の52.2%で、次いで「雑誌や専門書等を見て学んでいた」30.1%、「ウェブサイトやYouTube等を見て学んでいた」16.7%、「盆栽の愛好者団体に教えてもらっていた」14.5%と続く。

全体平均の回答比率と男女別、年齢別、経験年数別の回答比率とを比較すると、まず男女別では女性で「家族や知人等、身近な人に教えてもらっていた」(57.6%)が高く、「雑誌や専門書等を見て学んでいた」(23.8%)が低い。

年齢別では、10～30代で「盆栽の愛好者団体に教えてもらっていた」、「カルチャーセンターの講座で習っていた」の回答比率が高い。

また、経験年数別では、経験が長いほど「雑誌や専門書等を見て学んでいた」の回答比率が高い。



集計表 EQ2 : 盆栽を始めた当初に育て方や剪定の仕方を学んだ方法

(その他の内容) 自己流、授業の一環で、TV等から

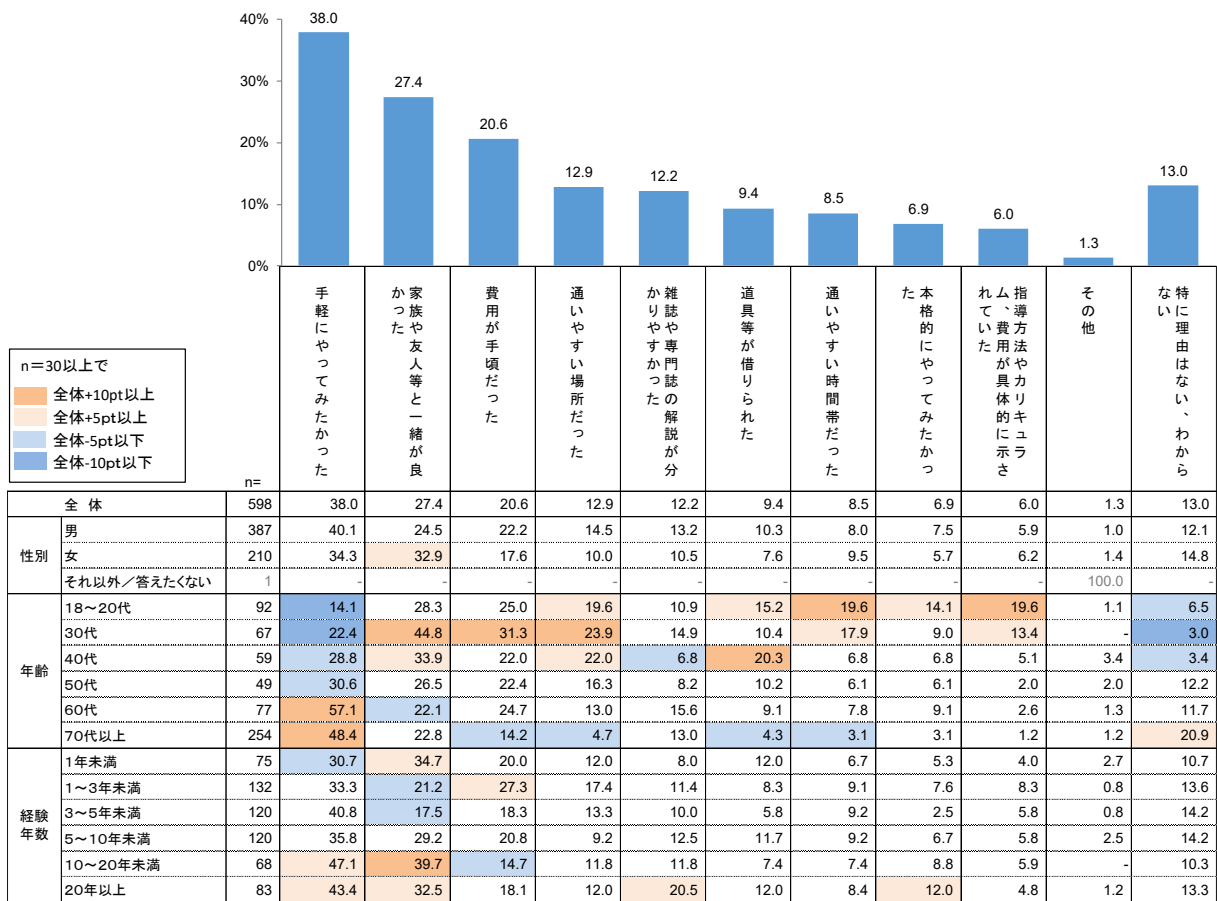
育て方や剪定の仕方を学んだ方法を選んだ理由

全体平均で最も回答比率が高いのは「手軽にやってみたかった」の38.0%で、次いで「家族や友人等と一緒に良かった」27.4%、「費用が手頃だった」20.6%、「通いやすい場所だった」12.9%、「雑誌や専門誌の解説が分かりやすかった」12.2%と続く。

全体平均の回答比率と男女別、年齢別、経験年数別の回答比率とを比較すると、まず男女別では、女性で「家族や友人等と一緒に良かった」(32.9%)の回答比率が高い。

年齢別では、若いほど「通いやすい場所だった」、「通いやすい時間帯だった」、「指導方法やカリキュラム、費用が具体的に示されていた」の回答比率が高く、高齢の方が「手軽にやってみたかった」という回答比率が高い。

経験年数別では、10年以上の者で「家族や友人等と一緒に良かった」、「手軽にやってみたかった」の2つの回答比率が高い傾向が見られる。



集計表 EQ 2 補問：育て方や剪定の仕方を学んだ方法を選んだ理由

(その他の内容) 授業の一環として、いきなり本格的に続けられる自信がない、植物・盆・土・時間など全て自由

現在の継続状況

継続状況については、「続けている」51.8%（310人）、「続けていない」48.2%（288人）と、続けているとの回答比率がやや高い。

全体平均の回答比率と男女別、年齢別、経験年数別の回答比率とを比較すると、まず男女別では女性で「続けている」が46.2%と低い。

年齢別では若い人ほど継続率が高く、特に30代（80.6%）が高い。

経験年数別では、5年以上で「続けている」という回答が半数を上回り、20年以上では7割以上が継続していることが分かる。

			(%)	
			続けている	続けていない
n=				
全体		598	51.8	48.2
性別	男	387	55.0	45.0
	女	210	46.2	53.8
	それ以外／答えたくない	1	100.0	
年齢	18～20代	92	69.6	30.4
	30代	67	80.6	19.4
	40代	59	55.9	44.1
	50代	49	46.9	53.1
	60代	77	42.9	57.1
	70代以上	254	40.6	59.4
経験年数	1年未満	92	44.0	56.0
	1～3年未満	67	47.7	52.3
	3～5年未満	59	39.2	60.8
	5～10年未満	49	52.5	47.5
	10～20年未満	77	58.8	41.2
	20年以上	254	77.1	22.9

※n=30未満は参考値のため灰色

集計表 EQ3：現在の継続状況

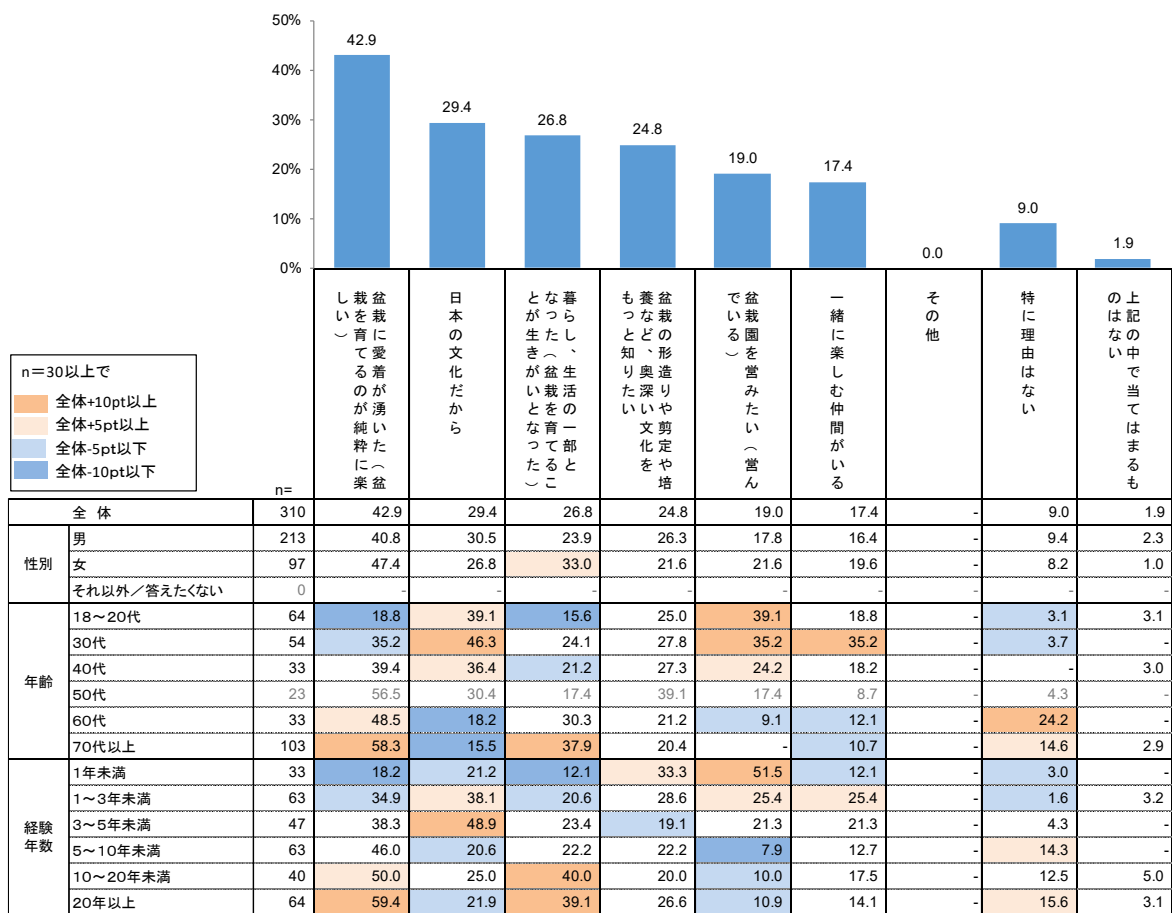
盆栽を続けている理由

全体平均で最も回答比率が高いのは「盆栽に愛着が湧いた（盆栽を育てるのが純粋に楽しい）」の42.9%で、次いで「日本の文化だから」29.4%、「暮らし、生活の一部となった（盆栽を育てることが生きがいとなった）」26.8%、「盆栽の形造りや剪定や培養など、奥深い文化をもっと知りたい」24.8%と続く。

全体平均の回答比率と男女別、年齢別、経験年数別の回答比率とを比較すると、まず男女別では、女性で、「暮らし、生活の一部となった（盆栽を育てることが生きがいとなった）」（33.0%）の回答比率が高い。

年齢別では、10～40代で「盆栽園を営みたい（営んでいる）」、「日本の文化だから」の回答比率が高く、60代以上で「盆栽に愛着が湧いた（盆栽を育てるのが純粋に楽しい）」、「暮らし、生活の一部となった（盆栽を育てることが生きがいとなった）」の回答比率が高い傾向が見られる。

経験年数別では、経験年数が高い方が「盆栽に愛着が湧いた（盆栽を育てるのが純粋に楽しい）」、「暮らし、生活の一部となった（盆栽を育てることが生きがいとなった）」の回答比率が高くなる傾向が見られる。また、経験年数が3年未満の者は「盆栽園を営みたい（営んでいる）」の回答比率が高く、経験年数によって、継続理由が異なる傾向がうかがえる。



※n=30未満は参考値のため灰色

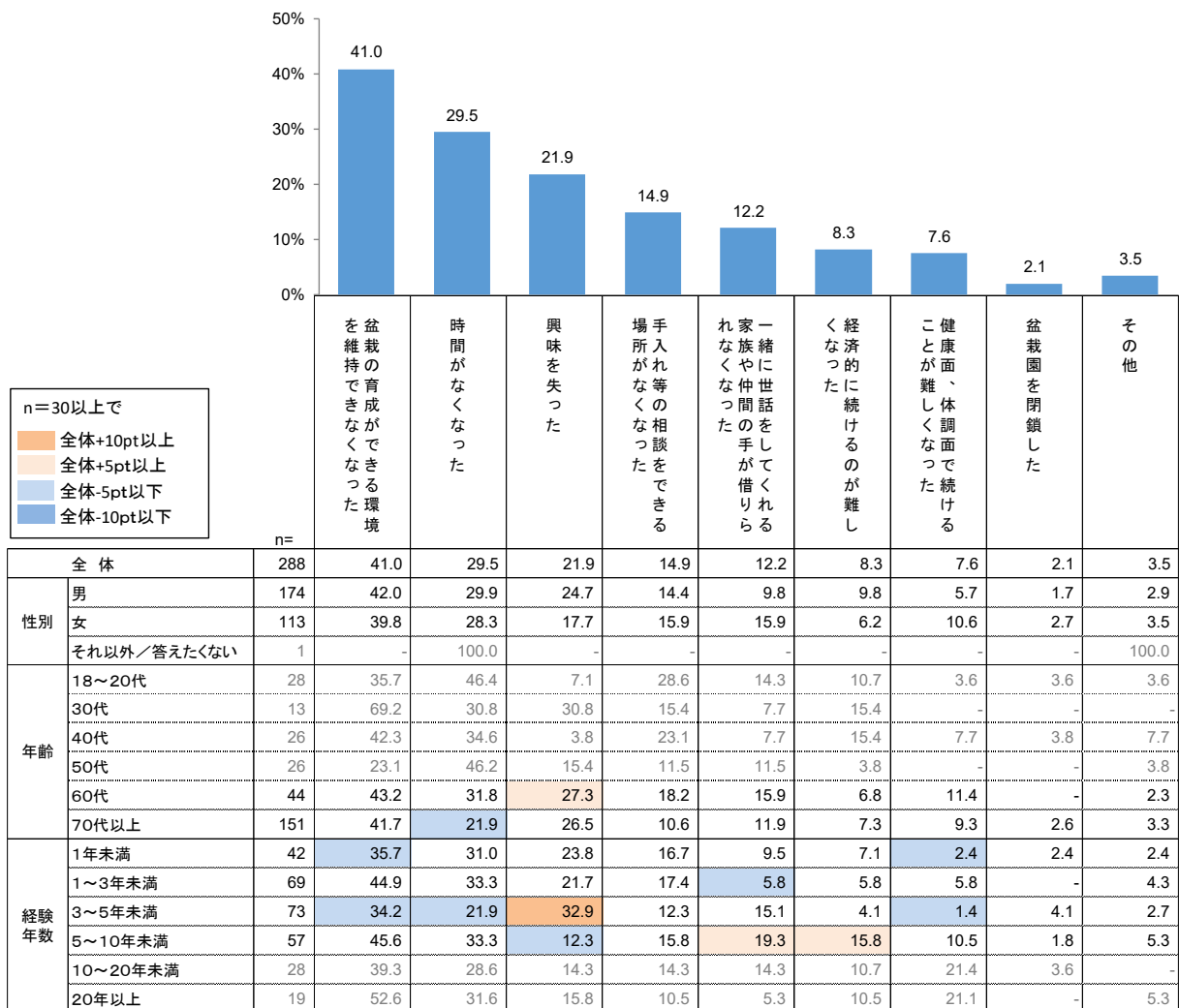
※全体の値を基準に降順並び替え

集計表 EQ3補問1：盆栽を続けている理由

盆栽から離れたきっかけや理由

全体平均で最も回答比率が高いのは「盆栽の育成ができる環境を維持できなくなった」の41.0%で、次いで「時間がなくなった」29.5%、「興味を失った」21.9%と続く。

経験年数別では、3～5年未満の者で「興味を失った」(32.9%)の回答比率が高く、5～10年未満の者で「一緒に世話をしてくれる家族や仲間の手が借りられなくなった」(19.3%)、「経済的に続けるのが難しくなった」(15.8%)の回答比率がやや高い。



※n=30未満は参考値のため灰色

※全体の値を基準に降順並び替え

集計表 EQ3補問2：盆栽から離れたきっかけや理由

(その他の内容) 枯らしてしまった、転勤で移動が難しかった、ランの栽培に変更

盆栽を続けている（続けていた）年数

全体平均で最も回答比率が高いのは「1～3年未満」の22.1%で、次いで「3～5年未満」及び「5～10年未満」（共に20.1%）が続く。全体平均で3年以上続けている（いた）人の比率は65.4%となっている。

男女別では、3年以上継続している者は、男性で68.7%（387人中266人）、女性で59.5%（210人中125人）となっており、男性の方が長く続けている（いた）人の割合が高いことが分かる。

		n=	1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～20年未満	20年以上	(%)
全体		598	12.5	22.1	20.1	20.1	11.4	13.9	65.4
性別	男	387	11.6	19.6	21.4	19.9	10.6	16.8	68.7
	女	210	14.3	26.2	17.6	20.5	12.9	8.6	59.5
	それ以外／答えたくない	1	100.0						-
年齢	18～20代	92	19.6	33.7	23.9	17.4	2.2	3.3	46.7
	30代	67	17.9	28.4	23.9	13.4	11.9	4.5	53.7
	40代	59	22.0	23.7	16.9	22.0	13.6	1.7	54.2
	50代	49	16.3	30.6	20.4	22.4	6.1	4.1	53.1
	60代	77	14.3	20.8	14.3	16.9	15.6	18.2	64.9
	70代以上	254	5.1	14.6	20.1	22.8	13.8	23.6	80.3

※n=30未満は参考値のため灰色

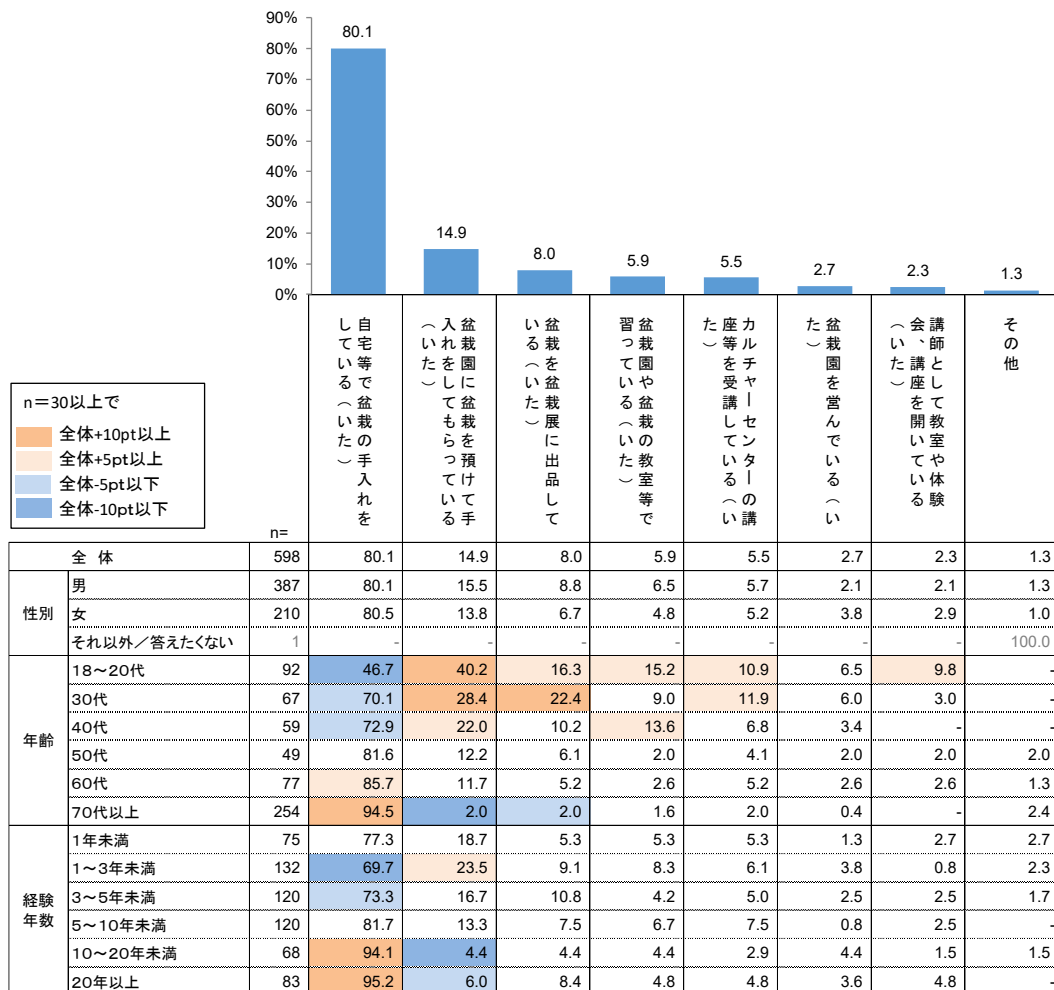
集計表 EQ4：盆栽を続けている（続けていた）年数

盆栽に関する活動内容

全体平均で最も回答比率が高いのは「自宅等で盆栽の手入れをしている (いた)」の80.1%で、次いで「盆栽園に盆栽を預けて手入れをしてもらっている (いた)」14.9%、「盆栽を盆栽展に出品している (いた)」8.0%、「盆栽園や盆栽の教室等で習っている (いた)」5.9%、「カルチャーセンターの講座等を受講している (いた)」5.5%と続く。

全体平均の回答比率と年齢別、経験年数別の回答比率とを比較すると、まず年齢別では、年齢が低いほど「自宅等で盆栽の手入れをしている (いた)」の回答比率が低く、「盆栽園に盆栽を預けて手入れをしてもらっている (いた)」、「盆栽を盆栽展に出品している (いた)」、「カルチャーセンターの講座等を受講している (いた)」という回答比率が高くなっている。

また、経験年数10年以上では「自宅等で盆栽の手入れをしている (いた)」の回答比率が高く、「盆栽園に盆栽を預けて手入れをもらっている (いた)」が低い。



※n=30未満は参考値のため灰色

※全体の値を基準に降順並び替え

集計表 EQ5 : 盆栽に関する活動内容

(その他の内容) 授業で知識を得た、何もしていない

盆栽に関する活動頻度

全体平均で最も回答比率が高いのは「週に2～3回」の28.9%で、次いで「ほぼ毎日」の20.9%、「週1回程度」20.4%と続く。週1回以上活動している（いた）比率は70.2%（598人中420人）である。

全体平均の回答比率と男女別、年齢別、経験年数別の回答比率とを比較すると、まず男女別では、男性で週1回以上活動している（いた）比率が72.6%（387人中281人）、女性で66.2%（210人中139人）となっている。

年齢別で見ると、30～40代で、週1回以上活動している（いた）回答比率が全体平均を上回っている。

また、経験年数別では、経験年数5年以上の者で週1回以上活動している（いた）回答比率が全体平均を上回っている。

		n=	ほぼ毎日	週に2～3回	週1回程度	月数回程度	月1回程度	年数回程度	年1回程度	(%)
全体		598	20.9	28.9	20.4	11.2	5.9	5.7	7.0	70.2
性別	男	387	22.0	29.7	20.9	11.1	5.9	5.2	5.2	72.6
	女	210	19.0	27.6	19.5	11.4	5.7	6.7	10.0	66.2
	それ以外／答えたくない	1	100.0							-
年齢	18～20代	92	23.9	28.3	17.4	14.1	6.5	3.3	6.5	69.6
	30代	67	34.3	32.8	17.9	6.0	3.0	3.0	3.0	85.1
	40代	59	32.2	22.0	27.1	8.5	3.4	1.7	5.1	81.4
	50代	49	10.2	30.6	12.2	10.2	10.2	16.3	10.2	53.1
	60代	77	19.5	27.3	22.1	13.0	6.5	5.2	6.5	68.8
	70代以上	254	16.1	29.9	21.7	11.8	5.9	6.3	8.3	67.7
経験年数	1年未満	75	32.0	17.3	14.7	6.7	6.7	6.7	16.0	64.0
	1～3年未満	132	11.4	37.1	21.2	12.1	6.8	3.0	8.3	69.7
	3～5年未満	120	15.0	33.3	21.7	14.2	5.0	5.0	5.8	70.0
	5～10年未満	120	15.8	32.5	23.3	10.8	4.2	10.0	3.3	71.7
	10～20年未満	68	27.9	22.1	25.0	11.8	4.4	4.4	4.4	75.0
	20年以上	83	36.1	20.5	14.5	9.6	8.4	4.8	6.0	71.1

※n=30未満は参考値のため灰色

集計表 EQ6：盆栽に関する活動頻度

盆栽に関する月額費用

全体平均で最も回答比率が高いのは月額「5,000円未満」の66.6%で、次いで「5,000円以上～10,000円未満」14.4%、「10,000円以上～15,000円未満」5.2%と続く。月額1万円以上支出している（いた）と回答した比率は19.1%（598人中114人）である。

全体平均の回答比率と男女別、年齢別、経験年数別の回答比率とを比較すると、まず男女別では、月額1万円以上支出の割合が、男性21.7%（387人中84人）、女性14.3%（210人中30人）と男性の方が高い。

次に年齢別で見ると、年齢が低いほど、月額1万円以上支出している（いた）割合が高いことが分かる。

また、経験年数別では、経験年数1年未満の者、20年以上の者は月額「5,000円未満」の回答比率が高い。

		n=	5,000円未満	5,000円以上～10,000円未満	10,000円以上～15,000円未満	15,000円以上～20,000円未満	20,000円以上～25,000円未満	25,000円以上～30,000円未満	30,000円以上～35,000円未満	35,000円以上～40,000円未満	40,000円以上～45,000円未満	45,000円以上～50,000円未満	50,000円以上	合計	(%)
全体		598	66.6	14.4	5.2	3.5	3.7	1.2	1.3	1.2	0.7	0.8	1.5	19.1	
性別	男	387	64.6	13.7	6.5	4.4	4.1	1.3	1.3	1.8	0.8	0.8	0.8	21.7	
	女	210	70.0	15.7	2.9	1.9	2.9	1.0	1.4	-	0.5	1.0	2.9	14.3	
	それ以外/答えたくない	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
年齢	18～20代	92	33.7	23.9	13.0	5.4	8.7	1.1	1.1	4.3	2.2	3.3	3.3	42.4	
	30代	67	49.3	9.0	7.5	7.5	10.4	1.5	6.0	3.0	3.0	-	3.0	41.8	
	40代	59	54.2	15.3	10.2	5.1	6.8	3.4	3.4	-	-	1.7	-	30.5	
	50代	49	71.4	10.2	4.1	4.1	4.1	2.0	-	-	-	2.0	2.0	18.4	
	60代	77	76.6	14.3	2.6	1.3	1.3	-	1.3	-	-	-	2.6	9.1	
	70代以上	254	81.9	13.0	1.6	2.0	-	0.8	-	0.4	-	-	0.4	5.1	
経験年数	1年未満	75	82.7	6.7	5.3	-	2.7	-	1.3	-	-	-	1.3	10.7	
	1～3年未満	132	65.2	17.4	8.3	2.3	3.0	0.8	1.5	1.5	-	-	-	17.4	
	3～5年未満	120	60.0	18.3	4.2	4.2	7.5	0.8	0.8	1.7	0.8	0.8	0.8	21.7	
	5～10年未満	120	62.5	12.5	5.0	5.8	5.0	1.7	2.5	1.7	0.8	2.5	-	25.0	
	10～20年未満	68	63.2	14.7	5.9	5.9	-	2.9	-	-	2.9	1.5	2.9	22.1	
	20年以上	83	72.3	13.3	1.2	2.4	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	-	-	6.0	14.5

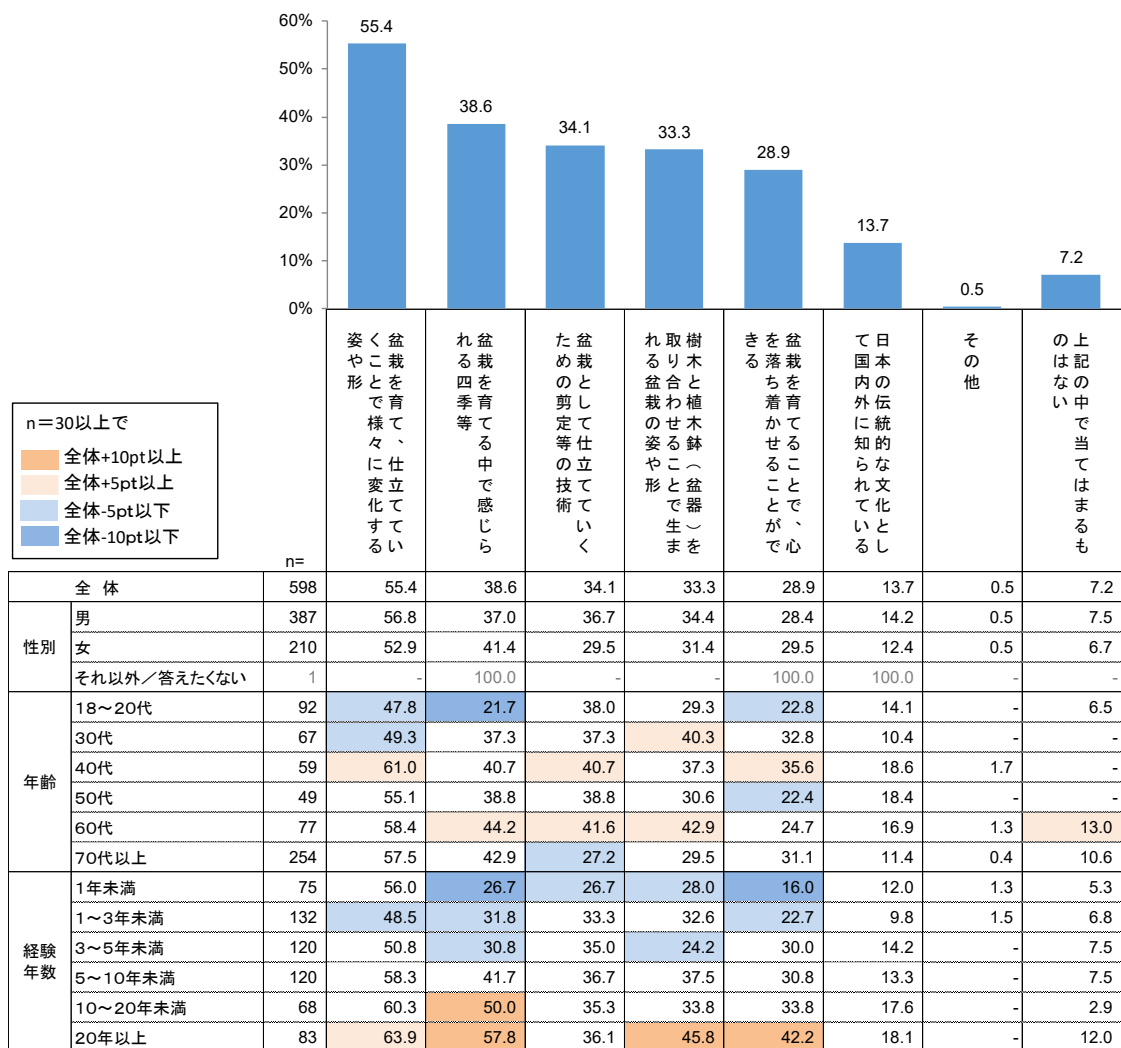
※n=30未満は参考値のため灰色

集計表 EQ7：盆栽に関する月額費用

盆栽に関する興味関心や魅力

全体平均で最も回答比率が高いのは「盆栽を育て、仕立てていくことで様々に変化する姿や形」の55.4%で、次いで「盆栽を育てる中で感じられる四季等」38.6%、「盆栽として仕立てていくための剪定等の技術」34.1%、「樹木と植木鉢(盆器)を取り合わせることで生まれる盆栽の姿や形」33.3%と続く。

経験年数別では、年数が長いほど「盆栽を育てる中で感じられる四季等」、「盆栽を育てることで、心を落ち着かせることができる」の回答比率が高い。



集計表 EQ8 : 盆栽に関する興味関心や魅力

(その他の内容) 静かなペットのような存在感、インテリアとして、緑に親しむ

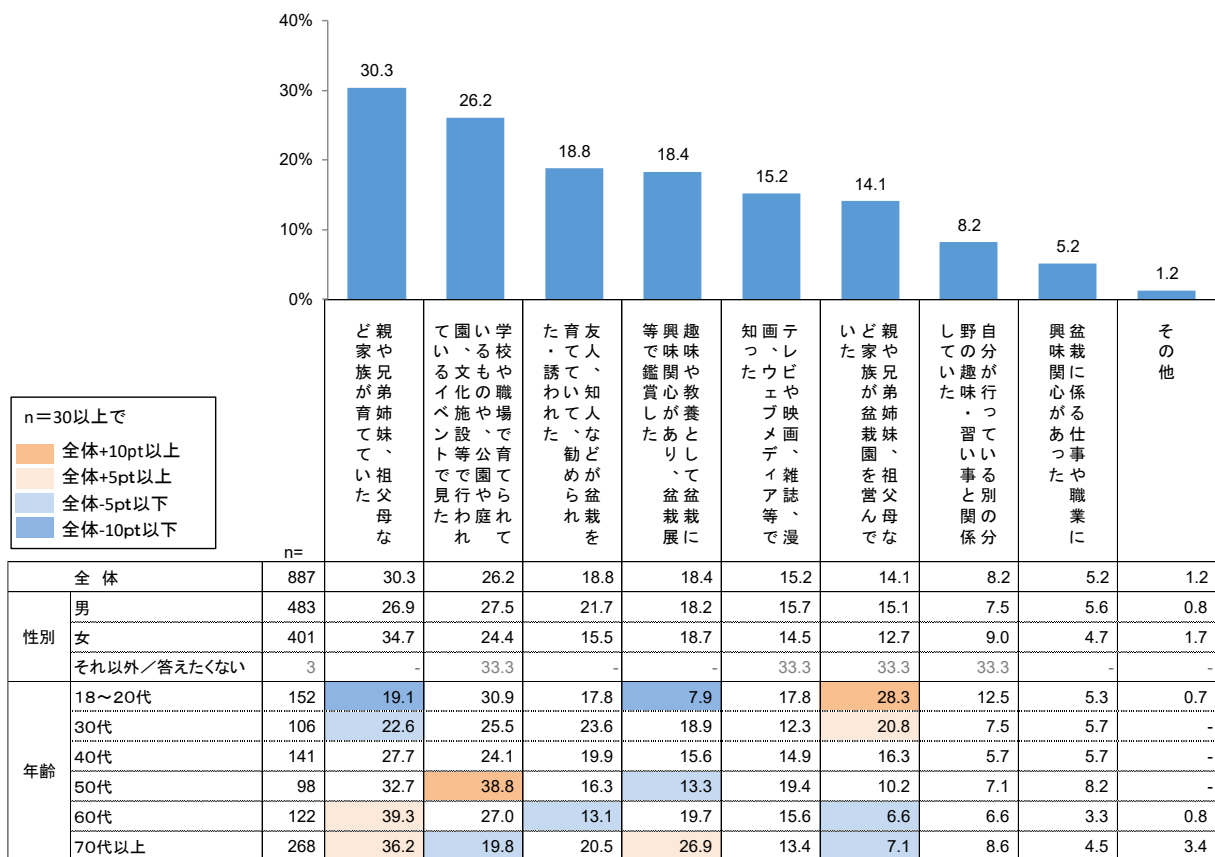
■ 「イベント等で盆栽体験をしたことはある」と回答した者への設問（EQ9～EQ15）

本設問では、盆栽をイベント等で体験したと回答した者が、どのようなきっかけや機会で盆栽に関わる体験をしたのか、また、どの程度盆栽に興味関心を持っているのか等を把握するためのアンケートを実施した。

盆栽を体験したきっかけ

全体平均で最も回答比率が高いのは「親や兄弟姉妹、祖父母など家族が育てていた」の30.3%で、次いで「学校や職場で育てられているものや、公園や庭園、文化施設等で行われているイベントで見た」26.2%、「友人、知人などが盆栽を育てていて、勧められた・誘われた」18.8%、「趣味や教養として盆栽に興味関心があり、盆栽展等で鑑賞した」18.4%と続く。

年齢別では10～30代で「親や兄弟姉妹、祖父母など家族が盆栽園を営んでいた」の回答比率が高く、60代以上は「親や兄弟姉妹、祖父母など家族が育てていた」の回答比率が高い。



※n=30未満は参考値のため灰色

※全体の値を基準に降順並び替え

集計表 EQ9：盆栽を体験したきっかけ

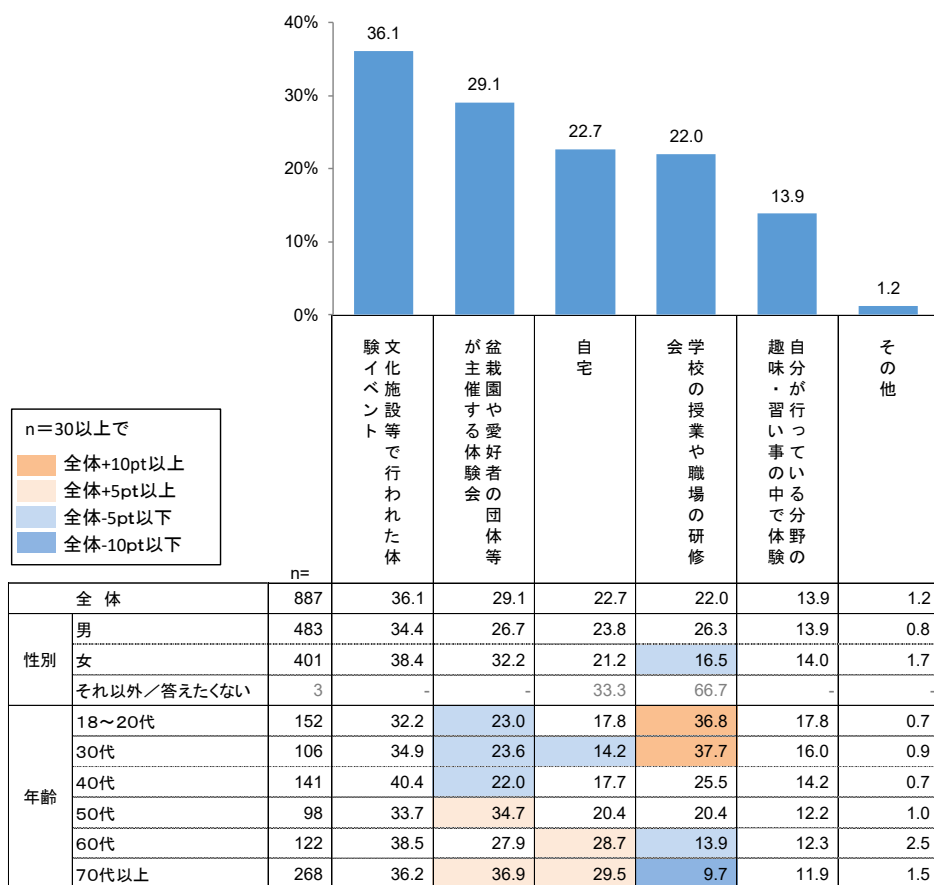
(その他の内容) 趣味が多いため、隣に盆栽をたくさん作っている人が越してきた

盆栽を体験した場

全体平均で最も回答比率が高いのは「文化施設等で行われた体験イベント」の36.1%で、次いで「盆栽園や愛好者の団体等が主催する体験会」29.1%、「自宅」22.7%、「学校の授業や職場の研修会」22.0%となる。

全体平均の回答比率と男女別、年齢別の回答比率とを比較すると、まず男女別では、女性で「学校の授業や職場の研修会」(16.5%)の回答比率が低い。

また、年齢別では、10~30代で「学校の授業や職場の研修会」の回答比率が高い。また、10~40代では「盆栽園や愛好者の団体等が主催する体験会」の回答比率が低い。



※n=30未満は参考値のため灰色

※全体の値を基準に降順並び替え

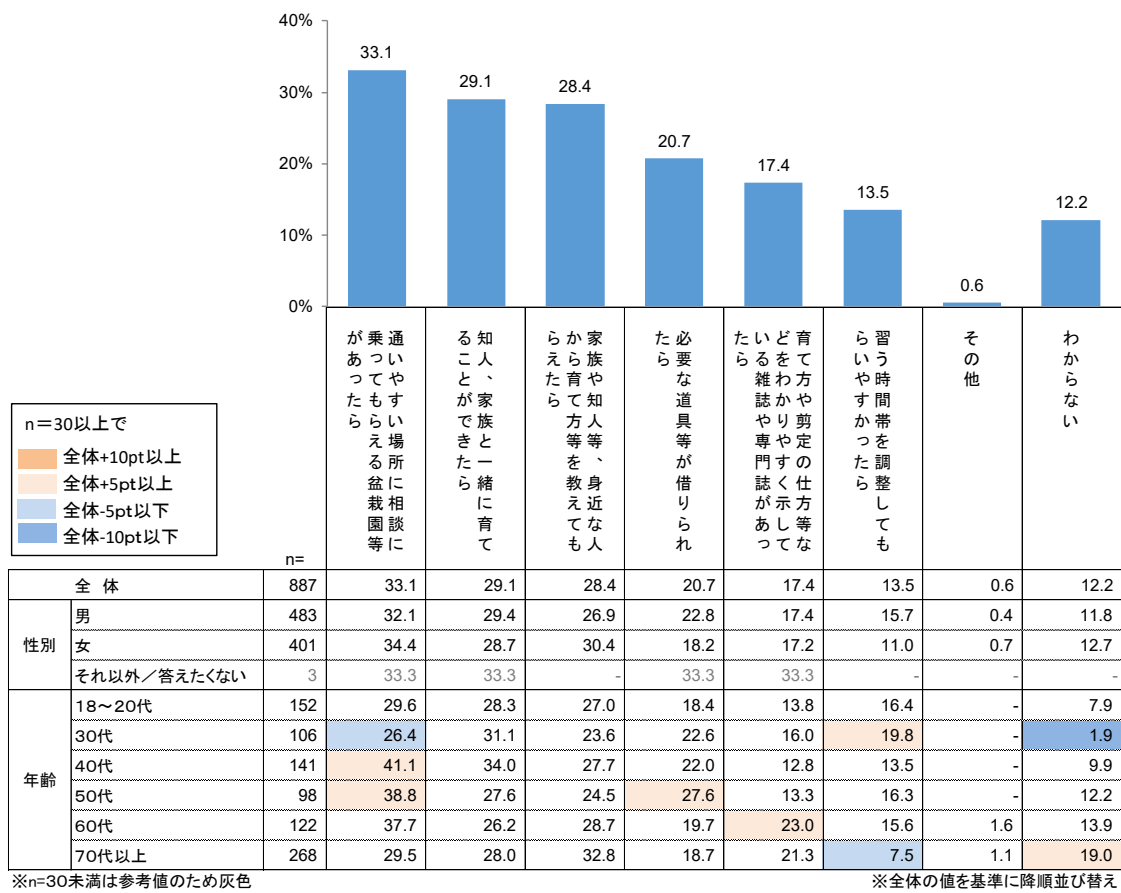
集計表 EQ10: 盆栽を体験した場

(その他の内容) 愛好者の家で手入れを体験、企業のイベント、盆栽の美術館に行った、結婚式場の花屋で仕事をしていた

盆栽を育てやすい状況

全体平均で最も回答比率が高いのは「通いやすい場所に相談に乗ってもらえる盆栽園等があったら」の33.1%で、次いで「知人、家族と一緒に育てることができたら」29.1%、「家族や知人等、身近な人から育て方等を教えてもらえたら」28.4%、少し離れて「必要な道具等が借りられたら」20.7%と並ぶ。

全体平均の回答比率と年齢別の回答比率とを比較した場合、30代で「通いやすい場所に相談に乗ってもらえる盆栽園等があったら」の回答比率がやや低い一方、40～50代ではやや高い。



集計表 EQ11：盆栽を育てやすい状況

(その他の内容) 置く場所次第、人様の作品で楽しませていただく

盆栽に支払える月額費用

全体平均で最も回答比率が高いのは「5,000円未満」の43.9%で、次いで「5,000円以上～10,000円未満」27.8%、「10,000円以上～15,000円未満」9.8%となった。月額1万円以上支払ってもいいと回答した比率は28.3%（887人中251人）である。

男女別を見ると、男性で月額1万円以上支払ってもよいという回答比率が31.5%（483人中152人）あったのに対し、女性は24.4%（401人中98人）にとどまる。

また、年齢別では、年齢が若いほど月額1万円以上支払ってもよいという回答が増える傾向がある。

		n=	5,000円未満	5,000円以上～10,000円未満	10,000円以上～15,000円未満	15,000円以上～20,000円未満	20,000円以上～25,000円未満	25,000円以上～30,000円未満	30,000円以上～35,000円未満	35,000円以上～40,000円未満	40,000円以上～45,000円未満	45,000円以上～50,000円未満	50,000円以上	合計	(%)
			43.9	27.8	9.8	5.6	5.1	2.9	1.6	0.7	0.6	0.5	1.6	28.3	
性別	全体	887	43.9	27.8	9.8	5.6	5.1	2.9	1.6	0.7	0.6	0.5	1.6	28.3	
	男	483	37.9	30.6	11.4	6.4	5.6	3.7	2.1	0.4	0.2	0.2	1.4	31.5	
	女	401	51.1	24.4	8.0	4.7	4.5	2.0	1.0	1.0	1.0	0.7	1.5	24.4	
	それ以外/答えたくない	3	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	33.3
年齢	18～20代	152	21.7	28.3	15.8	10.5	9.2	3.9	2.6	3.3	-	2.0	2.6	50.0	
	30代	106	28.3	19.8	14.2	9.4	15.1	3.8	3.8	-	3.8	-	1.9	51.9	
	40代	141	34.8	29.8	12.8	5.7	6.4	5.7	2.8	-	0.7	-	1.4	35.5	
	50代	98	49.0	28.6	11.2	6.1	2.0	1.0	-	1.0	-	-	1.0	22.4	
	60代	122	58.2	27.9	6.6	4.1	0.8	0.8	0.8	-	-	-	0.8	13.9	
	70代以上	268	59.0	29.5	4.1	1.9	1.1	2.2	0.4	-	-	0.4	1.5	11.6	

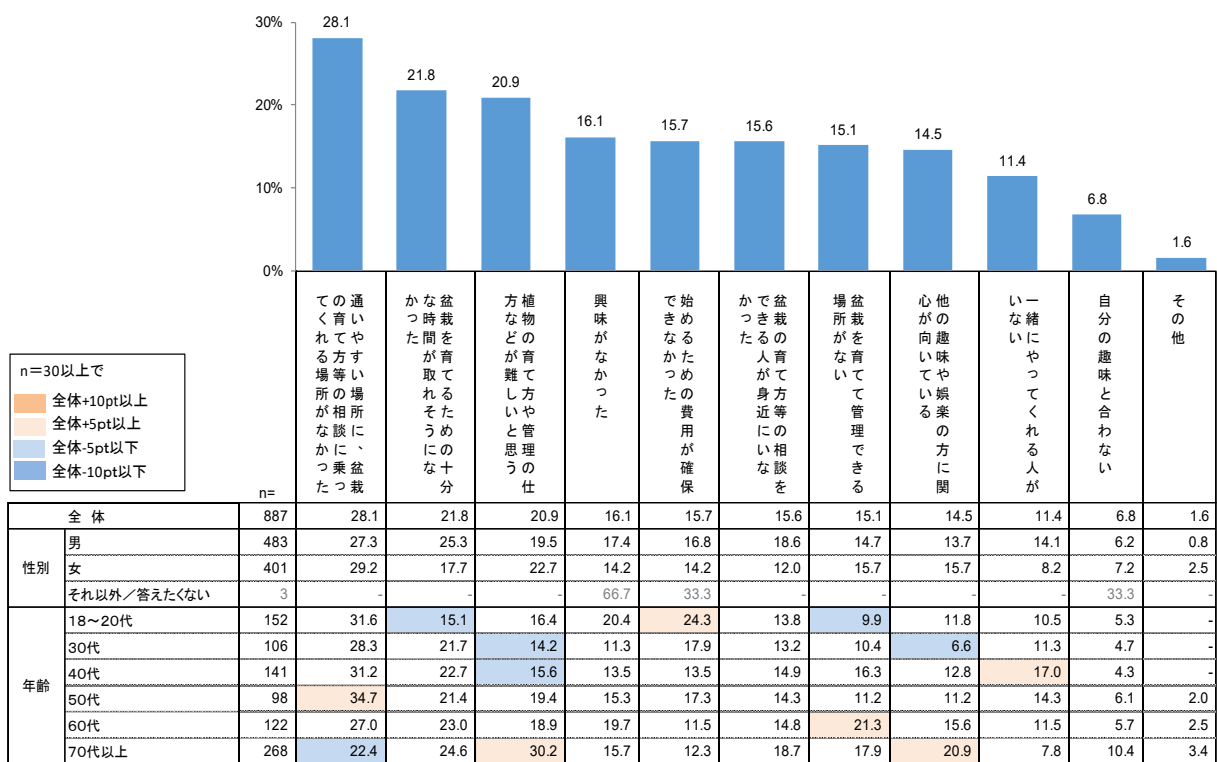
※n=30未満は参考値のため灰色

集計表 EQ12：盆栽に支払える月額費用

盆栽を育てていない理由

全体平均で最も回答比率が高いのは「通いやすい場所に、盆栽の育て方等の相談に乗ってくれる場所がなかった」の28.1%で、次いで「盆栽を育てるための十分な時間が取れそうになかった」21.8%、「植物の育て方や管理の仕方などが難しいと思う」20.9%、「興味がなかった」16.1%となった。

年齢別では、18～20代で「始めるための費用が確保できなかった」の回答比率が高い一方、60代では「盆栽を育てて管理できる場所がない」、70代以上では「植物の育て方や管理の仕方などが難しいと思う」、「他の趣味や娯楽の方に興味が向いている」の回答比率が高く、年代によって育てていない理由に異なる傾向が見られる。



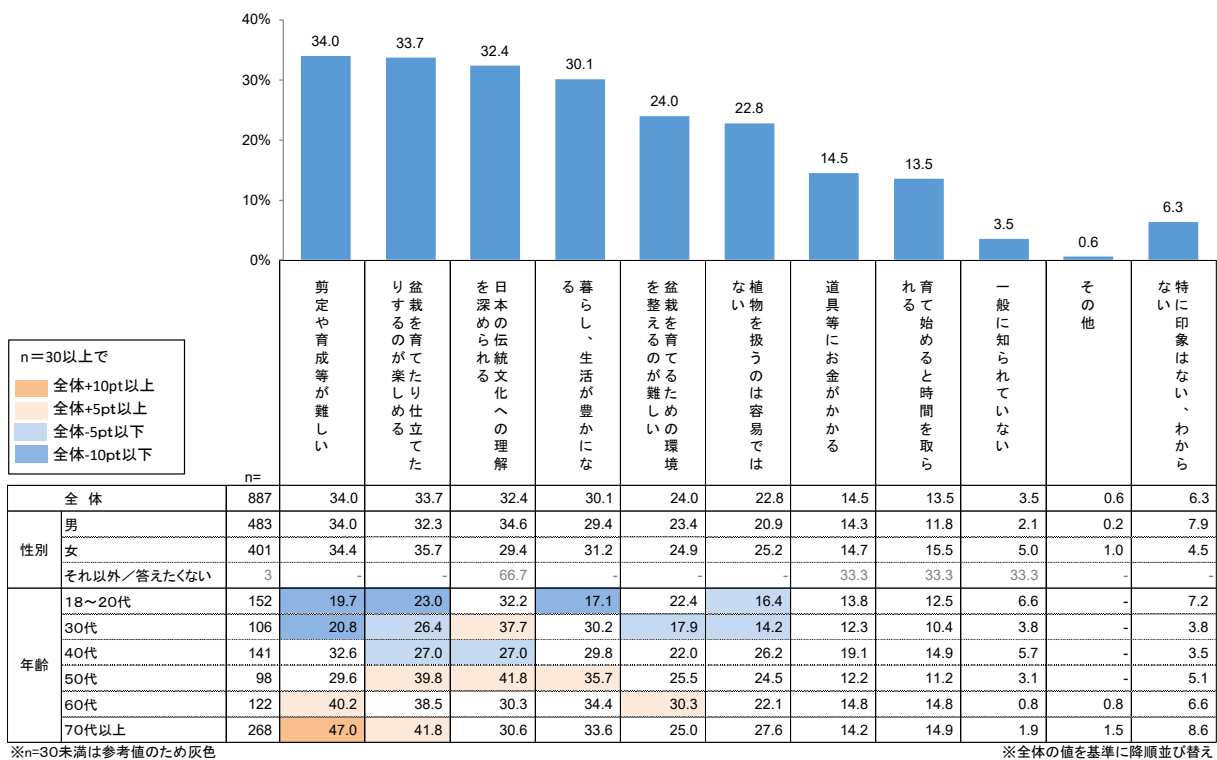
集計表 EQ13：盆栽を育てていない理由

(その他の内容) 毎日の水やりが大変、鑑賞だけで十分、素敵に思うが洋風な家で合わない

盆栽に対する印象やイメージ

全体平均で最も回答比率が高いのは「剪定や育成等が難しい」の34.0%で、ほぼ同率で「盆栽を育てたり仕立てたりするのが楽しめる」33.7%、「日本の伝統文化への理解を深められる」32.4%と続き、次いで「暮らし、生活が豊かになる」30.1%、「植物を育てるための環境を整えるのが難しい」24.0%となっており、剪定や育成の難しさがわずかに先行してはいるが、肯定的なイメージへの回答比率が高くなっている。

年齢別では、10～40代で「盆栽を育てたり仕立てたりするのが楽しめる」の回答比率が低く、10～30代で「剪定や育成等が難しい」、「植物を扱うのは容易ではない」という回答比率が低い。一方、60代以上で「剪定や育成等が難しい」の回答比率が高くなる。



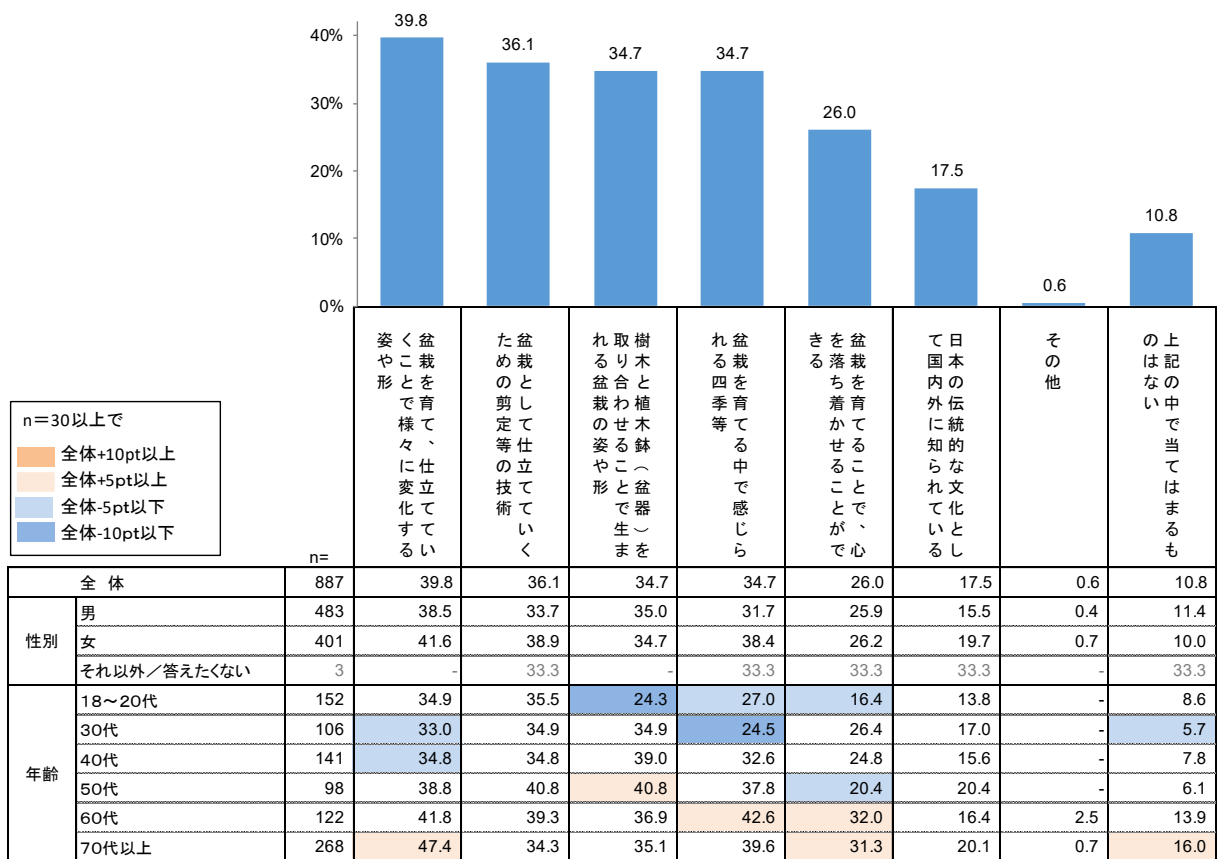
集計表 EQ14：盆栽に対する印象やイメージ

(その他の内容) 我流で楽しんでいる、毎日の手入れが必要、旅行に行けない

盆栽に関する興味関心や魅力

全体平均で最も回答比率が高いのは「盆栽を育て、仕立てていくことで様々に変化する姿や形」の39.8%で、次いで「盆栽として仕立てていくための剪定等の技術」36.1%、「樹木と植木鉢（盆器）を取り合わせることで生まれる盆栽の姿や形」、「盆栽を育てる中で感じられる四季等」（共に34.7%）、「盆栽を育てることで、心を落ち着かせることができる」26.0%が続いている。

年齢別で見ると、60代以上で「盆栽を育て、仕立てていくことで様々に変化する姿や形」や「盆栽を育てることで、心を落ち着かせることができる」の回答比率が高くなる傾向がある一方、40～50代では、「樹木と植木鉢（盆器）を取り合わせることで生まれる盆栽の姿や形」の回答比率が高く、年代によって魅力や興味関心の傾向は若干異なっている。



※n=30未満は参考値のため灰色

※全体の値を基準に降順並び替え

集計表 EQ15：盆栽に関する興味関心や魅力

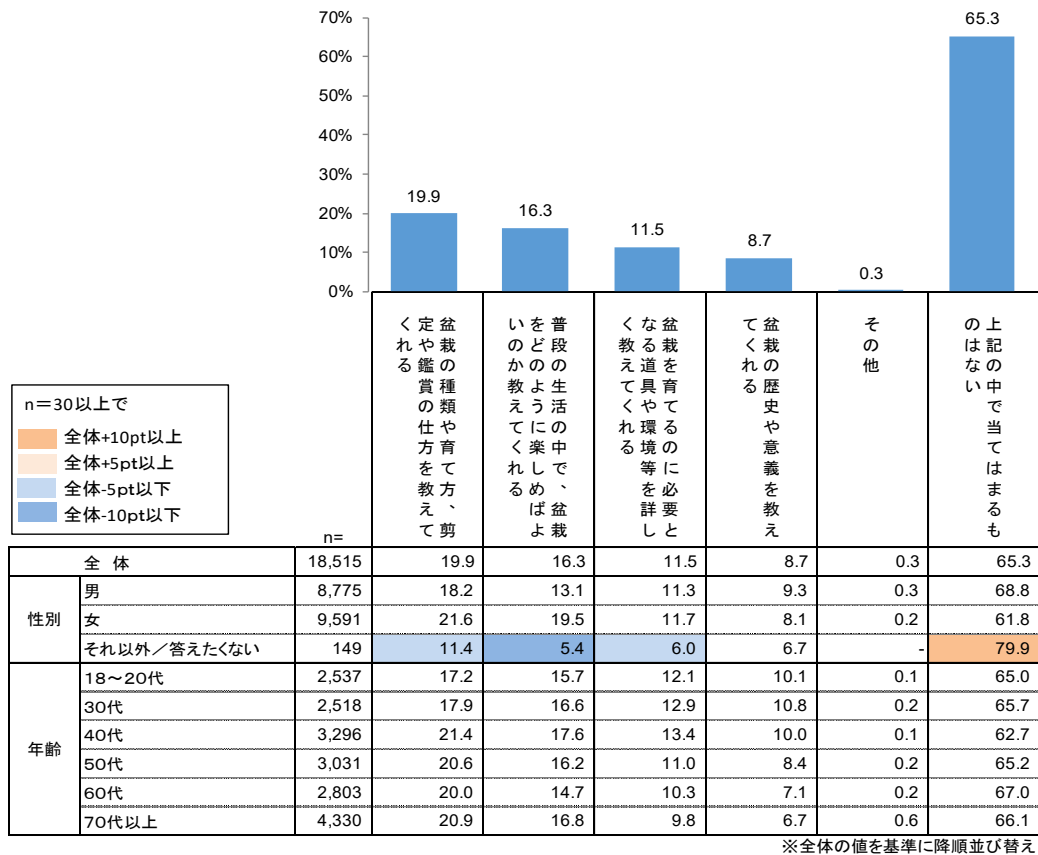
(その他の内容) 自然に親しむ心がけ、苔が好き、完成作品の美しさ

■「盆栽を育てたり盆栽体験をしたりしたことはない」と回答した者への設問（EQ16～EQ20）

本設問では、盆栽を経験したことがないと回答した者が、盆栽を育てる体験をするなら、どのような内容や機会なら参加したいか、また、盆栽に対してどの程度、興味関心を持っているのか等を把握するためのアンケートを実施した。

参加してみたい盆栽の体験内容

全体で最も回答比率が高いのは「上記の中で当てはまるものはない」の65.3%で、次いで「盆栽の種類や育て方、剪定や鑑賞の仕方を教えてくれる」19.9%、「普段の生活の中で、盆栽をどのように楽しめばよいのか教えてくれる」16.3%、「盆栽を育てるのに必要となる道具や環境等を詳しく教えてくれる」11.5%となった。

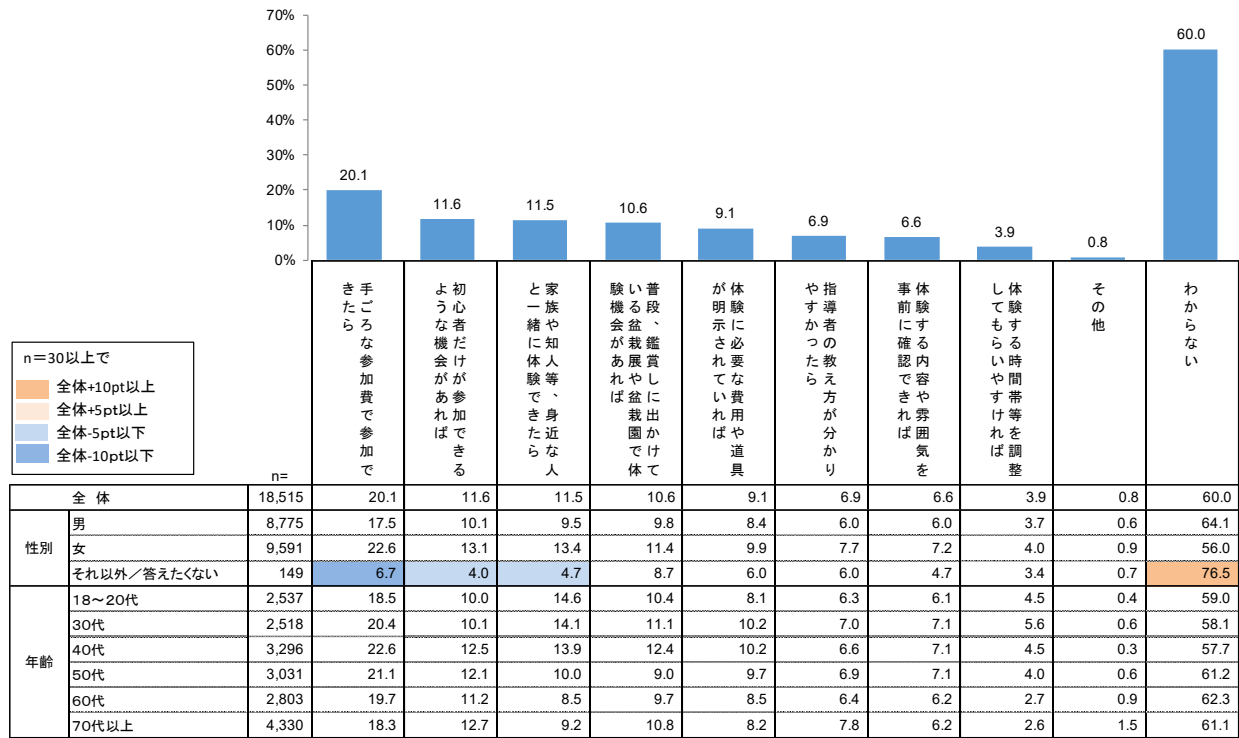


集計表 EQ16：参加してみたい盆栽の体験内容

（その他の内容）無料・値段が安い、一日体験、格付けの盆栽を見分けることができる、通販で買える

参加しやすい盆栽の体験条件

全体平均で最も回答比率が高いのは「わからない」の60.0%で、次いで「手ごろな参加費で参加できたら」20.1%、「初心者だけが参加できるような機会があれば」11.6%、「家族や知人等、身近な人と一緒に体験できたら」11.5%、「普段、鑑賞しに出かけている盆栽展や盆栽園で体験機会があれば」10.6%となる。



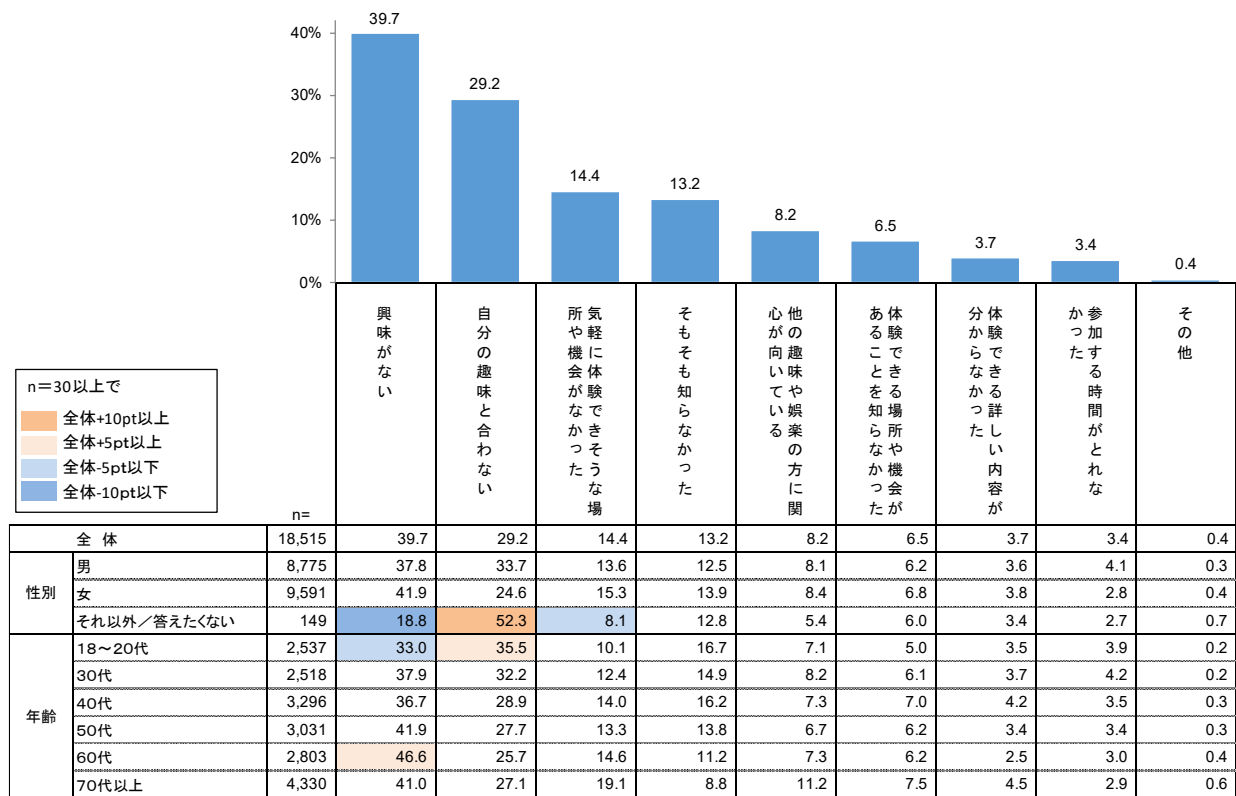
集計表 EQ17: 参加しやすい盆栽の体験条件

(その他の内容) 無料体験があれば、かしこまった感じではなくフランク、場所が近ければ、持ち帰れる

盆栽を体験したことがない理由

全体平均で最も回答比率が高いのは「興味がない」の39.7%で、次いで「自分の趣味と合わない」29.2%、「気軽に体験できそうな場所や機会がなかった」14.4%、「そもそも知らなかった」13.2%と続く。

年齢別では、18～20代で「自分の趣味と合わない」(35.5%)の回答比率が高いほか、60代で「興味がない」(46.6%)の回答比率が高い。



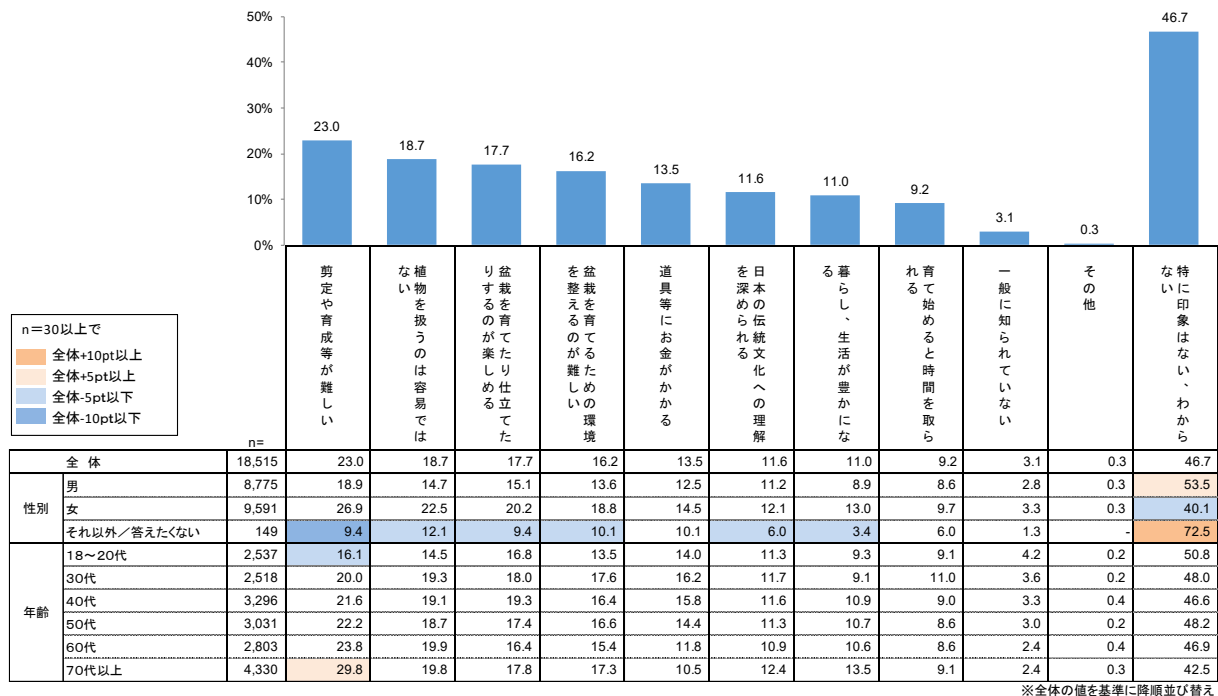
集計表 EQ18：盆栽を体験したことがない理由

(その他の内容) 費用が高そう、育てるのが難しい、長い年月がかかるから、専門的で敷居が高い

盆栽に対する印象やイメージ

全体平均で最も回答比率が高いのは「特に印象はない、わからない」の46.7%で、次いで「剪定や育成等が難しい」23.0%、「植物を扱うのは容易ではない」18.7%、「盆栽を育てたり仕立てたりするのが楽しめる」17.7%、「盆栽を育てるための環境を整えるのが難しい」16.2%、「道具等にお金がかかる」13.5%と続いている。「特に印象はない、わからない」以外の上位5つの回答のうち、プラスのイメージはあるものの、盆栽が生き物であるが故に剪定や育成、環境を整えることが難しいという印象が強いことが傾向に表れている。

次に年齢別に見ると、「剪定や育成等が難しい」との回答した者の中で、70代以上（29.8%）の回答比率が高い一方で、18～20代（16.1%）の回答比率が低い。

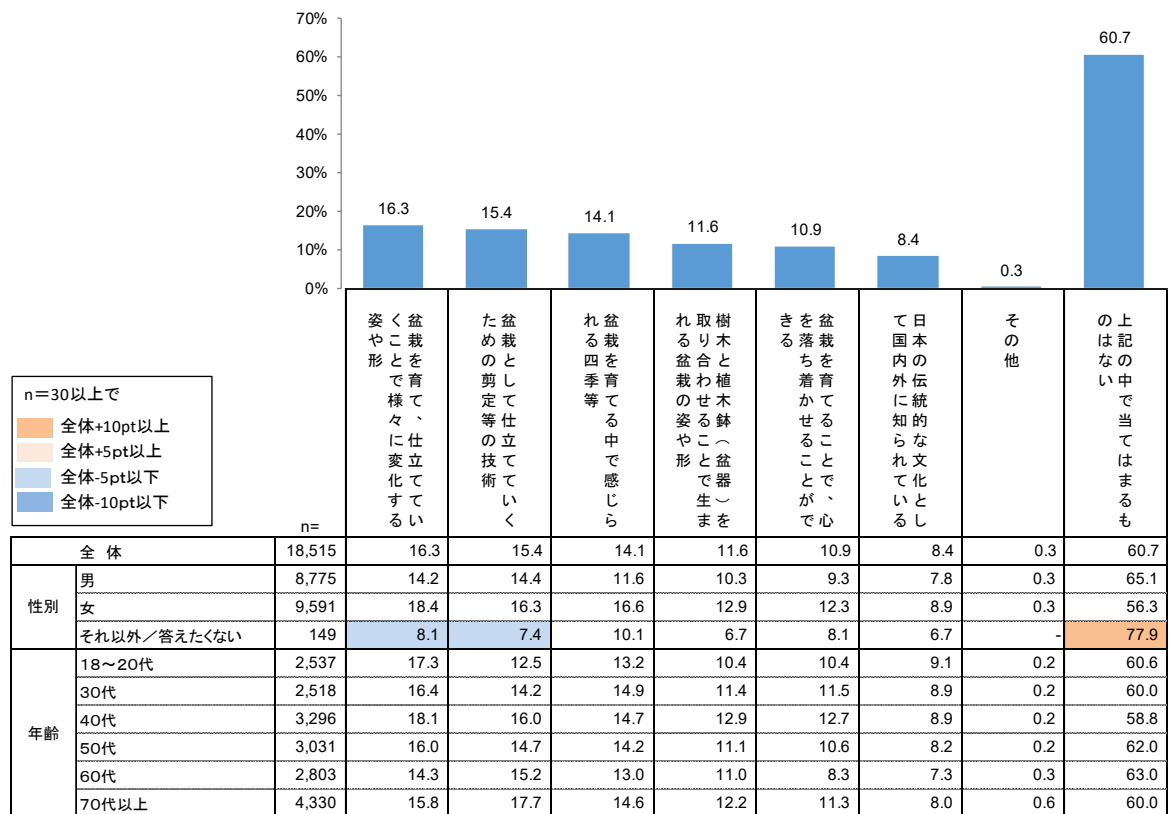


集計表 EQ19：盆栽に対する印象やイメージ

(その他の内容) 植物を無理な方向に曲げたり成長を止めたり不自然なことをしている、どちらかというとな年後の男性の趣味、場所をとる

盆栽に関する興味関心や魅力

全体平均で最も回答比率が高いのは「上記の中で当てはまるものはない」の60.7%で、次いで「盆栽を育て、仕立てていくことで様々に変化する姿や形」16.3%、「盆栽として仕立てていくための剪定等の技術」15.4%、「盆栽を育てる中で感じられる四季等」14.1%と続く。



集計表 EQ20：盆栽に関する興味関心や魅力

(その他の内容) 安価に体験できるなら、入門セットみたいな物があれば始めるかも

②調査結果に基づく分析と考察

本節では、盆栽の振興施策の検討を主眼として、前掲の集計結果に加えてクロス集計等も行い、これらの結果について分析を行う。

盆栽に関して「経験あり」、「参加体験あり」、「未経験」、それぞれの回答者にどのような特徴が見られるのかを分析するため、「居住地」、「職業」、「同居家族」、「世帯年収」、「子供の頃の習い事」等の設問や設問間とのクロス集計を行った。結果は以下のとおりである。

回答者の特性や傾向について

■居住地、職業、同居家族、世帯年収とのクロス集計結果

盆栽の経験・体験の有無と各属性別とのクロス集計の結果、特に際立った傾向は見られない。

居住地・職業・同居家族・昨年度の世帯年収×盆栽の経験の有無

		FQ フィルタリング・パート (%)			
		n=	「経験あり」層	「参加体験あり」層	「未経験」層
全体		20,000	3.0	4.4	92.6
居住地	北海道	852	3.2	2.9	93.9
	東北	1,385	3.1	4.8	92.1
	関東	7,422	3.2	5.1	91.8
	北陸	816	3.6	2.9	93.5
	東海(中部)	2,349	2.3	4.7	93.0
	近畿	3,247	3.0	3.7	93.3
	中国	1,140	3.2	4.0	92.7
	四国	584	3.6	4.6	91.8
	九州	1,987	2.7	4.0	93.3
	沖縄	218	0.5	5.0	94.5
職業	正規の職員・従業員	6,411	2.9	5.3	91.7
	非正規の職員・従業員	2,803	1.9	4.0	94.1
	自営業主・自由業	1,239	3.6	6.1	90.4
	家族従業者	135	3.7	8.1	88.1
	主婦・主夫	3,987	2.4	3.8	93.8
	学生	512	3.7	3.9	92.4
	リタイア、無職	4,141	4.4	3.7	91.9
	その他	772	1.3	3.0	95.7
同居家族	ひとり暮らし	4,145	3.3	4.6	92.2
	核家族	13,277	2.9	4.3	92.8
	三世大家族	1,179	3.6	5.9	90.6
	上記以外で同居している人がいる	1,399	2.1	4.1	93.8
昨年度の世帯年収	100万円未満	991	3.0	3.0	93.9
	100万円以上～200万円未満	1,325	3.8	4.5	91.7
	200万円以上～300万円未満	2,030	3.8	4.8	91.4
	300万円以上～400万円未満	2,367	3.9	4.9	91.3
	400万円以上～500万円未満	1,937	2.5	5.5	92.0
	500万円以上～600万円未満	1,457	2.8	5.1	92.0
	600万円以上～700万円未満	1,096	2.9	6.0	91.1
	700万円以上～800万円未満	1,024	2.5	3.9	93.6
	800万円以上～900万円未満	702	3.6	8.0	88.5
	900万円以上～1,000万円未満	653	3.4	5.5	91.1
1,000万円以上	1,525	4.1	5.9	90.0	
分からない	4,893	1.8	2.4	95.8	

■子供の頃の習い事とのクロス集計結果

次に、盆栽の経験・体験の有無についての回答と、「子供の頃の習い事」に関する設問への回答とのクロス集計の結果を示す。

クロス集計を行った結果、「経験あり」と回答した者の全体平均（3.0%）と比較すると、「囲碁や将棋」（18.6%）の回答比率が大きく上回っているほか、「バレエやダンス」（10.1%）、「伝統芸能や茶道・華道等の芸事」（8.7%）も全体平均を上回る回答比率を示している。「参加体験あり」と回答した者でも近似した傾向が表れており、「囲碁や将棋」、「バレエやダンス」、「伝統芸能や茶道・華道等の芸事」に加えて、「美術」についても回答比率が高いことが分かる。

子供の頃の習い事×盆栽の経験の有無

		FQ フィルタリング・パート (%)		
		「経験あり」層	「参加体験あり」層	「未経験」層
	n=			
全体	20,000	3.0	4.4	92.6
楽器演奏(ピアノやバイオリンなど)や歌唱(コーラスや声楽など)	4,615	3.7	5.8	90.5
バレエやダンス(バレエ、モダンダンスやコンテンポラリーダンスなど)	755	10.1	14.6	75.4
美術(絵画や版画、彫刻、工芸など)	939	7.9	12.2	79.9
伝統芸能や茶道・華道等の芸事	743	8.7	13.7	77.5
囲碁や将棋	221	18.6	23.1	58.4
書道・習字・ペン字、そろばん	8,121	3.3	5.3	91.4
スポーツ・武道	3,661	3.6	6.6	89.9
その他	449	3.6	3.6	92.9
していない	7,852	2.1	2.2	95.7

■スポーツや趣味、娯楽等の活動とのクロス集計結果

次に、スポーツや趣味、娯楽等（以下、趣味・娯楽等）の活動の内容や、これらの活動に費やす時間やお金に関する回答結果とのクロス集計結果と、そこから見る特徴や傾向を示す。

趣味・娯楽等として行っている活動内容のクロス集計結果を見ると、「特に何もしていない」の全体平均の回答比率は17.4%であるが、「経験あり」（3.0%）、「参加体験あり」（3.7%）と、経験あり・参加体験ありの回答者共に、趣味・娯楽等と積極的な関わりを持っていることがうかがえる。

次に盆栽を育てた経験があると回答した者の、趣味・娯楽等の活動内容の傾向を見ると、日本の伝統的な文化に関して全体平均を上回る回答比率となっている。

一方、盆栽体験をしたことがあると回答した者の趣味・娯楽等の活動内容の傾向を見ると、盆栽の経験者と比べて「書道」と「お花」の回答比率が高い。また、「特に何もしていない」の回答比率も経験者の回答比率と比べると少し高いことが分かる。

また、前述のとおり、盆栽を未経験であると回答した者については「特に何もしていない」の回答比率が全体平均をやや上回っている上、日本の伝統的な文化との関わりも全体平均をやや下回っており、伝統的な文化との関わりについてはあまり積極的な傾向は見られない。

次に、1ヶ月に使える趣味・娯楽等にかかる費用や活動する時間帯、活動に費やす時間とのクロス集計結果を示す。

まず、趣味・娯楽等にかかる費用については、「5,000円未満」（49.5%）で、「経験あり」、「参加体験あり」と回答した者の回答比率が全体平均を下回っている。また、月額2万円以上を支出している者の全体平均は11.4%であるが、「経験あり」、「参加体験あり」と回答した者共に回答比率が上回っている。このことから、「経験あり」、「参加体験あり」と回答した者については、「未経験」と回答した者よりも、趣味・娯楽等に費用を用いている。

趣味・娯楽等の活動を行う時間帯を見ると、「平日午前」（30.6%）の場合、「経験あり」と回答した者の回答比率が44.1%と高く、「平日午後」、「平日夕方」も全体平均より少し回答比率が高い。また、「参加体験あり」と回答した者の場合、「平日夕方」と「休日午前」が全体平均より少しだけ回答比率が高いが、顕著な特徴とはいえない。

趣味・娯楽等に費やす月平均の時間を見ると、「1時間未満」（22.9%）の場合、「経験あり」、「参加体験あり」と回答した者の両方で、全体平均を下回っていることが確認できる。また、「2時間以上～3時間未満」（13.7%）では、「経験あり」、「参加体験あり」と回答した者の両方が全体平均を上回る回答比率となっている。

盆栽の経験の有無×趣味・娯楽等の活動状況

(%)

	n=	共通設問1 趣味・余暇活動の参加状況					
		邦楽、民謡	書道	お茶	お花	おどり（日舞など）	特に何もしていない
全体	20,000	1.5	1.7	1.6	1.8	0.4	17.4
「経験あり」層	598	5.0	6.0	7.2	6.0	2.3	3.0
「参加体験あり」層	887	2.6	6.3	5.3	6.4	1.0	3.7
「未経験」層	18,515	1.3	1.4	1.2	1.4	0.3	18.5

※共通設問1は、分析で取り上げた選択肢のみ抜粋して掲載している。（以下同様）

盆栽の経験の有無×趣味・娯楽等に1ヶ月に使える費用

(%)

	n=	共通設問2 1ヶ月に使える趣味・余暇費用											
		5,000円未満	15,000円未満	115,000円未満	215,000円未満	225,000円未満	325,000円未満	335,000円未満	435,000円未満	445,000円未満	545,000円未満	50円以上	合計
全体	16,527	49.5	22.9	10.2	5.9	3.1	3.0	1.4	0.6	0.4	0.6	2.3	11.4
「経験あり」層	580	38.6	21.6	11.7	8.1	5.3	4.7	1.7	2.1	0.7	0.9	4.7	20.0
「参加体験あり」層	854	27.0	26.6	14.8	9.1	7.8	5.2	3.2	1.2	1.3	0.6	3.3	22.5
「未経験」層	15,093	51.2	22.7	9.9	5.7	2.7	2.8	1.2	0.5	0.3	0.6	2.2	10.5

盆栽の経験の有無×趣味・娯楽等を行う時間帯

		共通設問3 1ヶ月に使える趣味・余暇時間帯 (%)							
		平日午前	平日午後	平日夕方	平日夜間	休日午前	休日午後	休日夕方	休日夜間
n=30以上で		全体+10pt以上 全体+5pt以上 全体-5pt以下 全体-10pt以下							
n=									
全体	16,527	30.6	30.1	15.8	18.8	34.9	43.7	21.2	15.5
「経験あり」層	580	44.1	34.5	19.0	15.9	37.4	31.9	17.9	11.0
「参加体験あり」層	854	29.4	28.9	19.0	15.3	35.9	34.0	17.3	7.5
「未経験」層	15,093	30.1	30.0	15.5	19.1	34.8	44.7	21.6	16.2

盆栽の経験の有無×趣味・娯楽等に費やす時間

		共通設問4 趣味・余暇活動を行う時間 (%)										
		1時間未満	2時間未満	3時間未満	4時間未満	5時間未満	6時間未満	7時間未満	8時間未満	9時間未満	10時間未満	10時間以上
n=30以上で		全体+10pt以上 全体+5pt以上 全体-5pt以下 全体-10pt以下										
n=												
全体	16,527	22.9	23.5	13.7	7.0	4.5	4.1	1.7	1.9	0.9	1.3	18.5
「経験あり」層	580	14.8	20.2	15.7	11.0	5.2	4.3	2.1	2.9	0.7	2.2	20.9
「参加体験あり」層	854	15.7	24.1	19.0	10.8	5.2	6.0	2.5	2.0	0.8	1.3	12.8
「未経験」層	15,093	23.6	23.6	13.3	6.6	4.5	4.0	1.7	1.8	0.9	1.3	18.7

消費行動に関する意識や価値観に関するクロス集計結果

消費行動に関する意識や価値観の項目と盆栽の経験・体験の有無とのクロス集計結果を示す。

「経験あり」と回答した者の場合、「リスクはできるだけ避けたい」と「上記であてはまるものはない」を除いた全ての意見で回答比率が平均を上回っている。これらの回答比率の中でも、「周りに合わせるより、自分の考えに基づいてものごとを判断したい」(34.1%)と「環境問題・社会課題の解決の役に立ちたい」(20.7%)の回答比率は、全体平均を大きく上回っている。

「参加体験あり」と回答した者の場合、「経験あり」との回答者と同じく、「リスクはできるだけ避けたい」、「上記であてはまるものはない」を除いた全ての意見で回答比率が全体平均を上回っており、「経験あり」と回答した者と異なり「チャンスと感じたら逃したくない」(30.9%)の回答比率が大きく上回っているほか、「自分の考えを主張するより、周りとの和を尊重したい」(32.0%)の回答比率は、全体平均及び「経験あり」と回答した者の回答比率も上回っている。一方、「周りに合わせるより、自分の考えに基づいてものごとを判断したい」(30.9%)は、「経験あり」と回答した者よりも回答比率がやや低い傾向が見られ、「経験あり」と回答した者とは異なる価値観を持っている傾向にあると推察される。

なお、「未経験」と回答した者では、「上記であてはまるものはない」(23.2%)と「リスクはできるだけ避けたい」(42.2%)の2項目のみ、全体平均を少し上回っている。

盆栽の経験の有無×消費行動に対する価値観

(%)

共通設問5 消費行動に対する価値観

	n=	たい	自分	ご分	周	た	たい	立	決	要	い	者	集	そ	た	は	発	自	な
		り	の	の	り	く	リ	ち	境	困	り	集	集	の	流	分	信	分	上
		周	考	を	に	チャ	リス	族	環	困	の	同	集	の	行	分	信	分	上
		り	え	を	合	ン	ク	や	境	ん	の	士	集	の	り	が	た	が	記
		の	を	を	わ	ス	は	友	問	の	の	の	の	の	の	面	の	に	記
		考	を	を	わ	と	は	人	・	に	に	の	の	の	白	思	の	に	記
		え	を	を	わ	感	で	・	に	に	に	の	の	の	い	っ	の	に	記
		を	を	を	わ	じ	可	知	に	に	に	の	の	の	く	て	の	に	記
		を	を	を	わ	た	避	人	に	に	に	の	の	の	も	も	の	に	記
		を	を	を	わ	ら	け	の	に	に	に	の	の	の	も	も	の	に	記
		を	を	を	わ	に	を	の	に	に	に	の	の	の	も	も	の	に	記
		を	を	を	わ	逃	避	役	に	に	に	の	の	の	も	も	の	に	記
		を	を	を	わ	し	け	に	に	に	に	の	の	の	も	も	の	に	記
		を	を	を	わ	し	け	に	に	に	に	の	の	の	も	も	の	に	記
		を	を	を	わ	し	け	に	に	に	に	の	の	の	も	も	の	に	記
		を	を	を	わ	し	け	に	に	に	に	の	の	の	も	も	の	に	記
		を	を	を	わ	し	け	に	に	に	に	の	の	の	も	も	の	に	記
		を	を	を	わ	し	け	に	に	に	に	の	の	の	も	も	の	に	記
全体	20,000	25.6	22.6	20.2	41.9	24.9	10.6	19.6	2.4	5.4	13.6	3.9	26.8	3.1	3.1	6.2	4.3	7.0	
「経験あり」層	598	31.1	34.1	27.8	40.8	31.4	20.7	27.9	3.8	10.5	18.7	6.0	33.3	6.2	4.3	7.0	5.2	5.4	
「参加体験あり」層	887	32.0	30.9	30.9	36.2	31.0	19.4	26.7	4.2	10.1	18.3	8.1	27.7	7.2	5.2	5.4	2.9	23.2	
「未経験」層	18,515	25.1	21.9	19.4	42.2	24.4	9.8	19.0	2.3	5.0	13.2	3.7	26.5	2.8	2.9	23.2			

■ 普段接するメディアとのクロス集計結果

回答者が普段接するメディアと盆栽の経験・体験の有無とのクロス集計結果を示す。

まず、「経験あり」と回答した者の場合、「テレビ (NHK)」（60.0%）、「新聞」（47.5%）の2つで全体平均を大きく上回っているほか、「CATV や衛星放送のチャンネル」、「ラジオ」、「雑誌・タウン誌」、「紙の書籍」なども全体平均を上回る回答比率である。

「参加体験あり」と回答した者の場合、「CATV や衛星放送のチャンネル」（20.6%）、「雑誌・タウン誌」（17.6%）の回答比率が全体平均を大きく上回っている。その他のメディアへの接触については「経験あり」と回答した者と比べると、あまり高い傾向とはいえない。

「未経験」と回答した者は、ほとんどのメディアにおいて回答比率が低く、「上記のメディアはあまり見ていない」（11.4%）、「テレビ (民放)」（69.9%）、「動画投稿サイト」（33.9%）、「SNS」（28.6%）の回答比率が全体平均の回答比率を少し上回っており、普段からのメディア接触は高くない傾向がうかがえる。

盆栽の経験の有無×接触メディア

(%)

共通設問6 接触メディア

	n=	B	波	C	経	新	タ	雑	電	動	電	紙	電	紙	電	x	有	見
		テレ	レ	A	経	聞	雑	子	画	子	紙	子	紙	紙	紙	料	上	
		ビ	レ	T	ラ	新	誌	動	画	紙	紙	紙	紙	紙	料	上		
		(レ	V	ラ	聞	誌	画	紙	紙	紙	紙	紙	紙	料	上		
		民	レ	T	ラ	聞	誌	画	紙	紙	紙	紙	紙	紙	料	上		
		放	レ	V	ラ	聞	誌	画	紙	紙	紙	紙	紙	紙	料	上		
		の	レ	T	ラ	聞	誌	画	紙	紙	紙	紙	紙	紙	料	上		
		地	レ	T	ラ	聞	誌	画	紙	紙	紙	紙	紙	紙	料	上		
		上	レ	T	ラ	聞	誌	画	紙	紙	紙	紙	紙	紙	料	上		
		波	レ	T	ラ	聞	誌	画	紙	紙	紙	紙	紙	紙	料	上		
		・	レ	T	ラ	聞	誌	画	紙	紙	紙	紙	紙	紙	料	上		
		上	レ	T	ラ	聞	誌	画	紙	紙	紙	紙	紙	紙	料	上		
		波	レ	T	ラ	聞	誌	画	紙	紙	紙	紙	紙	紙	料	上		
		・	レ	T	ラ	聞	誌	画	紙	紙	紙	紙	紙	紙	料	上		
		上	レ	T	ラ	聞	誌	画	紙	紙	紙	紙	紙	紙	料	上		
		波	レ	T	ラ	聞	誌	画	紙	紙	紙	紙	紙	紙	料	上		
		・	レ	T	ラ	聞	誌	画	紙	紙	紙	紙	紙	紙	料	上		
		上	レ	T	ラ	聞	誌	画	紙	紙	紙	紙	紙	紙	料	上		
		波	レ	T	ラ	聞	誌	画	紙	紙	紙	紙	紙	紙	料	上		
		・	レ	T	ラ	聞	誌	画	紙	紙	紙	紙	紙	紙	料	上		
		上	レ	T	ラ	聞	誌	画	紙	紙	紙	紙	紙	紙	料	上		
		波	レ	T	ラ	聞	誌	画	紙	紙	紙	紙	紙	紙	料	上		
		・	レ	T	ラ	聞	誌	画	紙	紙	紙	紙	紙	紙	料	上		
		上	レ	T	ラ	聞	誌	画	紙	紙	紙	紙	紙	紙	料	上		
全体	20,000	69.5	41.7	10.2	14.3	28.5	7.5	46.1	33.7	28.5	20.4	6.0	6.8	6.4	11.9	10.8		
「経験あり」層	598	69.1	60.0	18.2	24.1	47.5	13.7	50.7	31.4	25.3	30.1	10.2	9.7	6.2	13.7	1.7		
「参加体験あり」層	887	62.6	49.5	20.6	22.1	36.6	17.6	44.8	30.7	27.3	26.6	8.2	9.5	7.0	12.9	3.7		
「未経験」層	18,515	69.9	40.8	9.4	13.6	27.5	6.9	46.0	33.9	28.6	19.8	5.7	6.6	6.3	11.8	11.4		

以上のクロス集計結果と、「①単純集計の結果について」で示した回答者の年齢・性別とのクロス集計の結果も踏まえ、盆栽の「経験あり」「参加体験あり」「未経験」、それぞれの回答者の特徴や傾向は以下のとおりになる。

1) 盆栽を育てたことがあると回答した者の傾向

男女別で見た場合、男性の方が女性よりも経験者の総数が多いのが特徴の一つといえる。年齢別で見た場合、70代以上が最も多く、次いで18～20代、60代と続く。

次に経験者の場合、子供の頃の習い事として伝統的な文化に係る分野を習っていたと回答している者は全体平均と比べた場合、回答比率が高い傾向にある。同様に、趣味・娯楽等の活動についても全体平均と比べると、伝統的な文化に係る趣味への嗜好性が高い傾向にあるといえる。消費行動への意識については、自分の考えに基づき物事を判断し、環境・社会課題の解決に対して役に立ちたいという価値観は全体平均と比べると回答比率が高いほか、周囲への一体感を大事にする、家族や困っている人の役に立ちたいなどの特徴も見られる。普段のメディア接触についてはNHKの地上波及びBS、新聞を始め、CATVや衛星放送、ラジオ、雑誌、紙の書籍などを中心に幅広く触れている傾向にある。

2) 盆栽を参加体験したと回答した者の傾向

男女別で見た場合、男性の方が女性よりも参加体験者の総数が多いのが特徴の一つといえる。また、年齢別で見た場合、70代以上が最も多く、次いで18～20代、40代と続く。

次に、子供の頃の習い事の経験があるとの回答比率が高く、盆栽を育てた経験があると回答した者よりも習い事の回答比率は高い傾向にある。一方、趣味・娯楽等の活動については、「書道」や「お花」については経験ありと回答した者よりも回答比率が高いが、何もしていないという回答比率も高い。

消費行動への意識については、全体平均と比べて、チャンスと感じたら逃したくないとの回答比率が高く、リスクはできるだけ避けたいとの回答比率が低い。加えて、自分の考え方にに基づき判断するという点は、全体平均を上回る回答比率ではあるが、盆栽を育てた経験があると回答した者よりも回答比率が低いことから、盆栽を育てたことがある者とは異なる価値観を有しているものと推察される。普段のメディア接触については、CMTVやBS放送、雑誌等との接触が高い傾向にある。

3) 盆栽を未経験と回答した者の傾向

男女別、年齢別等では顕著な特徴は見られなかった。

子供の頃の習い事の経験については、全体平均と比べると、経験がないとの回答比率がやや高い傾向にあると共に個別の習い事への回答比率も全体平均を下回っている。また、趣味・娯楽等の活動に対して、「特に何もしていない」という回答比率が全体平均を上回っており、必ずしも積極的に趣味・娯楽等を行っていない回答者が多い傾向がうかがえる。

消費行動への意識については、当てはまるものはない、リスクは避けたい、の2項目で回答比率が全体平均を上回っている以外、特徴的な傾向は見られない。また、メディア接触については、民放のテレビ放送を除き、いずれのメディアの回答比率も全体平均を下回っている上、「上記のメディアはあまり見ていない」の回答比率も全体平均を少し上回っており、盆栽を経験したことがある者や、体験したことがある者と比べると普段からのメディア接触率はあまり高い傾向にあるとはいえない。

未経験者の傾向と特徴

次に、上記の属性分析を踏まえ、「経験あり」「参加体験あり」「未経験」、それぞれの回答者ごとに設けた設問の回答結果についてクロス集計を行い、回答者の特徴について分析を行う。

はじめに、「未経験」と回答している者について分析を行う。上述の回答者属性に関する分析では、「未経験」と回答した者については際立った特徴や傾向は見いだせなかった。加えて、今後の振興施策を考える上で、「未経験」と回答した者が、盆栽をなぜ経験してこなかったのか、また、盆栽を経験することに対してどのような意識を持っているのか、どのような体験方法や周知の実施をすれば参加体験等に繋げていく可能性を見いだすことができるのか、その検討のために分析を行う必要がある。

■未経験層の体験機会への参加意向

未経験と回答した者のうち、盆栽を体験してみたいという意向を持つ回答者、体験意向がない回答者にはどのような特徴があるのか。趣味・娯楽等の活動内容、消費意識、メディア接触の設問とEQ16「参加してみたい盆栽の体験内容」とのクロス集計を行い、回答者の特徴について分析を行う。

EQ16では、体験内容として設定した選択肢にはあてはまるものはないと65.3%が回答しており、残りの34.7%については、体験内容によっては盆栽の体験に参加してみたいという意向を持っていると推察される。

まず、盆栽の体験に参加してみたいとの意向を示した回答者について、クロス集計結果からその特徴を確認する。趣味・娯楽等の活動とのクロス集計結果では、提示した体験内容を選択している者の場合、趣味・娯楽等の項目全てで全体平均やや上回る結果が出ていることから、趣味・娯楽等の活動に対して決して消極的ではないことが推察される。

盆栽の体験内容と消費行動に対する価値観とのクロス集計の結果からは、提示した体験内容を選択している者は、消費行動に関する価値観のほとんどの項目で、全体平均を上回る回答比率を示しており、明確な意見や嗜好性があることがうかがえる。

普段からのメディア接触については、提示した体験内容を選択している者は、様々なメディアへの回答比率が全体平均を上回っており、特にウェブサイトや動画投稿サイト、SNSを普段から使っている点で、盆栽を経験した者、体験した者と異なるメディア接触の傾向が見られる。

以上のように、盆栽の体験に参加してみたいとの意向を示した回答者の特徴として、趣味・娯楽等の活動に関して決して消極的ではない傾向にあるほか、消費行動に関する価値観については、経験者や参加体験者と近似した傾向が見られる。メディア接触については、経験者や参加体験者と異なる傾向があり、ウェブサイトをはじめとしたウェブメディアとの接触が高い特徴が見られる。

次に、盆栽の参加体験の意向がない者についてはどのような特徴があるか。EQ16で「上記の中で当てはまるものはない」と回答した者のうち、25.3%は趣味・娯楽等の活動について「特に何もしていない」と回答しており、全体平均を上回る回答比率を示している。また、消費行動に関する価値観に対する設問では「上記で当てはまるものはない」(33.1%)、メディア接触についても、「上記のメディアはあまり見ていない」(11.4%)と、全体平均を上回る回答比率を示している。

以上のように、盆栽体験への参加の意向がない者の特徴として、趣味・娯楽活動やメディアへの接触に必ずしも積極的とはいえず、消費についての意識・意見をあまり明確に持っていない傾向が確認できる。

参加してみたい盆栽の体験内容×趣味・娯楽等の活動状況

	n=	共通設問1 趣味・余暇活動の参加状況 (%)					
		邦楽、民謡	書道	お茶	お花	おどり（日舞など）	特に何もしていない
全体	18,515	1.3	1.4	1.2	1.4	0.3	18.5
盆栽の種類や育て方、剪定や鑑賞の仕方を教えてくれる	3,683	2.5	2.2	2.1	2.4	0.4	4.6
盆栽の歴史や意義を教えてくれる	1,603	3.3	2.9	2.9	2.9	0.5	3.8
盆栽を育てるのに必要となる道具や環境等を詳しく教えてくれる	2,120	3.4	2.5	2.4	2.7	0.5	4.9
普段の生活の中で、盆栽をどのように楽しめばよいのか教えてくれる	3,027	2.8	2.4	2.4	2.8	0.5	5.5
その他	47	2.1	4.3	2.1	2.1	-	4.3
上記の中で当てはまるものはない	12,085	0.8	0.9	0.8	1.0	0.2	25.3

参加してみたい盆栽の体験内容×消費行動に対する価値観

	n=	共通設問5 消費行動に対する価値観 (%)														
		自分の周りの考えを尊重し	自分の考えを主張する	周りの考えを尊重し	自分の考えに基づいて	周りの考えを尊重し	自分の考えに基づいて	周りの考えを尊重し	自分の考えに基づいて	周りの考えを尊重し	自分の考えに基づいて	周りの考えを尊重し	自分の考えに基づいて	周りの考えを尊重し	自分の考えに基づいて	
全体	18,515	25.1	21.9	19.4	42.2	24.4	9.8	19.0	2.3	5.0	13.2	3.7	26.5	2.8	2.9	23.2
盆栽の種類や育て方、剪定や鑑賞の仕方を教えてくれる	3,683	37.3	32.0	30.7	55.6	38.4	19.4	33.4	3.7	9.0	25.0	6.5	44.9	5.1	4.6	3.5
盆栽の歴史や意義を教えてくれる	1,603	36.7	33.7	37.5	49.0	38.3	23.7	33.7	5.4	9.8	26.7	8.5	38.7	7.9	5.6	3.4
盆栽を育てるのに必要となる道具や環境等を詳しく教えてくれる	2,120	35.9	33.3	35.2	56.6	40.9	22.0	35.8	4.7	10.1	28.6	8.1	46.3	7.4	6.2	3.2
普段の生活の中で、盆栽をどのように楽しめばよいのか教えてくれる	3,027	35.8	29.5	31.2	55.3	39.9	20.4	34.0	3.5	10.1	27.8	6.8	45.6	6.1	5.4	4.4
その他	47	29.8	48.9	19.1	68.1	27.7	17.0	25.5	2.1	8.5	12.8	4.3	51.1	6.4	14.9	8.5
上記の中で当てはまるものはない	12,085	20.1	18.3	14.7	38.2	19.5	6.4	14.0	1.6	3.3	8.9	2.5	20.8	1.9	2.2	33.1

参加してみたい盆栽の体験内容×接触メディア

	n=	共通設問6 接触メディア (%)														
		テレビ	波・テレビ	チャンネル	ラジオ	新聞	雑誌	インターネット	動画	紙の書籍	電子書籍	紙のマンガ	電子版のマンガ	有料サイト	見ないメディア	
全体	18,515	69.9	40.8	9.4	13.6	27.5	6.9	46.0	33.9	28.6	19.8	5.7	6.6	6.3	11.8	11.4
盆栽の種類や育て方、剪定や鑑賞の仕方を教えてくれる	3,683	81.3	55.4	12.6	19.2	37.3	11.8	60.5	44.3	38.9	31.9	8.9	10.6	10.5	17.4	1.0
盆栽の歴史や意義を教えてくれる	1,603	75.9	52.0	13.4	20.5	31.9	14.8	57.1	46.9	42.0	31.6	12.7	13.1	11.1	17.9	2.0
盆栽を育てるのに必要となる道具や環境等を詳しく教えてくれる	2,120	77.9	52.1	13.7	20.0	33.9	14.2	60.6	47.9	40.9	32.5	11.4	13.5	12.6	19.5	1.2
普段の生活の中で、盆栽をどのように楽しめばよいのか教えてくれる	3,027	78.2	51.6	12.8	18.2	34.0	12.6	58.9	44.2	40.0	31.3	8.8	10.9	9.7	17.6	2.2
その他	47	72.3	55.3	14.9	6.4	38.3	4.3	66.0	40.4	31.9	10.6	6.4	4.3	2.1	19.1	-
上記の中で当てはまるものはない	12,085	66.2	36.2	8.2	11.8	25.0	4.8	41.6	30.4	24.7	16.0	4.5	5.3	5.1	10.0	16.5

■参加したい体験機会別に見た参加条件

次に、盆栽を育てたり、盆栽体験をしたりしたことがないと回答した者が体験したい内容、また、体験条件にはどのような特徴があるのかについて、EQ16「参加してみたい盆栽の体験内容」の各種の参加体験とEQ17「参加しやすい盆栽の体験条件」の回答結果をクロス集計し、未経験者の考える体験しやすい内容と条件の傾向について分析を行う。

まず、EQ17で「わからない」(60.0%)と回答した者のうち、EQ16で「上記の中で当てはまるものはない」(87.8%)の回答比率が高く、盆栽の体験内容についての回答比率は極めて低いことから、盆栽の体験に関して参加意向が極めて低い者であると推察される。

次に、具体的な体験内容を選択した者の参加条件への回答比率は、全体平均より非常に高いことが分かる。体験条件の選択肢の回答比率を見ると、「手ごろな参加費で参加できたら」、「普段、鑑賞しに出かけている盆栽展や盆栽園で体験機会があれば」の2項目は回答比率が高く、特に重視されている傾向が見える。また、「盆栽を育てるのに必要となる道具や環境等を詳しく教えてくれる」を選択した回答者については、「手ごろな参加費で参加できたら」、「体験に必要な費用や道具が明示されていれば」、「初心者だけが参加できるような機会があれば」、「体験する内容や雰囲気を事前に確認できれば」、「指導者の教え方が分かりやすかったら」と、多くの体験条件を選択しており、具体的な体験条件を想定して回答している傾向がうかがえる。

以上のように、盆栽に関して未経験であると回答した者のうち、EQ16で具体的な体験内容を答えた者の多くは、EQ17の体験を行う際の条件についても具体的な条件を選択していることから、体験内容及び条件が明確な方が未経験者への参加体験を促しやすいものと推察できる。

参加してみたい盆栽の体験内容×参加しやすい盆栽の体験条件

		EQ17 参加しやすい盆栽体験の条件 (%)										
		と家族や知人に体験できたり身近な人	体験する機会がある盆栽展や盆栽園で体験	普段の生活の中で、盆栽をどのように楽しめばよいのか教えてくれる	きたら参加費で参加できたら	が体験に必要ない費用や道具	し体験する時間や準備を整	よ初心者だけが参加できる	事前確認内容や雰囲気	や指導者の教え方が分かり	その他	わからない
n=30以上で	n=											
全体+10pt以上												
全体+5pt以上												
全体-5pt以下												
全体-10pt以下												
全体	18,515	11.5	10.6	20.1	9.1	3.9	11.6	6.6	6.9	0.8	60.0	
盆栽の種類や育て方、剪定や鑑賞の仕方を教えてくれる	3,683	35.7	33.0	58.2	28.9	11.7	32.4	19.7	20.6	0.3	6.0	
盆栽の歴史や意義を教えてくれる	1,603	32.5	43.9	57.8	34.1	20.5	31.6	23.6	20.6	0.2	5.4	
盆栽を育てるのに必要となる道具や環境等を詳しく教えてくれる	2,120	31.4	39.6	66.3	42.4	19.0	40.8	26.6	26.6	0.4	3.8	
普段の生活の中で、盆栽をどのように楽しめばよいのか教えてくれる	3,027	28.1	30.0	55.0	30.0	14.3	38.0	24.3	24.9	0.3	7.9	
その他	47	4.3	6.4	8.5	2.1	2.1	6.4	4.3	6.4	63.8	27.7	
上記の中で当てはまるものはない	12,085	2.9	1.3	4.5	1.3	0.5	2.8	1.4	1.9	0.8	87.8	

■これまで盆栽を経験してこなかった理由と参加したい体験機会

E Q 18「盆栽を体験したことがない理由」を見ると、「興味がない」39.7%と「自分の趣味と合わない」29.2%が多く、次いで「気軽に体験できそうな場所や機会がなかった」14.4%、「そもそも知らなかった」13.2%となっている。

盆栽を育てたり盆栽体験をしたりしたことがないと回答した者に対して、これまでに盆栽体験してこなかった理由や事情（E Q 18）に関する問いを設けている。この設問を設けた理由として、未経験者のうちには、体験内容が身近になかった、特定の事情で体験することができなかった者や、そもそも全く興味がなかった等、回答者によって個々の事情や理由があることを想定したためである。

既に、回答者の中には興味関心がなかったわけではなく、体験できなかった事情や理由があると回答した者がいることがE Q 18 の回答結果から判明しているが、体験できなかった事情や理由があると回答した者はどのような体験機会があれば参加しやすいと考えているのか。E Q 18 と参加してみたい体験内容を問う設問（E Q 16）のクロス集計を行い、その傾向を分析する。

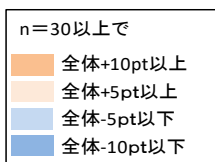
E Q 16 とのクロス集計の結果を見ると、E Q 18 で「興味がない」（39.7%）や「自分の趣味と合わない」（29.2%）を選んだ者の場合、E Q 16 で「その他」を除き、「上記の中で当てはまるものはない」との回答比率が高く、参加体験の意向がないことが分かる。

一方、E Q 18 で「気軽に体験できそうな場所や機会がなかった」（14.4%）と回答している者をはじめ、具体的な理由や事情を回答している者については、E Q 16 の体験内容に関する回答比率が全体平均を上回っており、未経験者の中でも参加体験をできない理由や事情があつて体験機会を逸していたことが分かる。特に、体験できる場所や機会がなかった、知らなかったと回答した者が、具体的な体験内容を回答している傾向にあることから、体験機会の周知を行っていくことで、未経験者に参加体験をしてもらう機会を醸成できる可能性があると推察される。

また、「そもそも知らなかった」（13.2%）を選んだ者の中でも、具体的な体験内容を選ぶ者がいることから、盆栽自体がどのような文化なのかも周知を行っていくことで、参加体験を促すことができるものと推察される。

参加してみたい盆栽の体験内容×盆栽を体験したことがない理由

	n=	EQ18 盆栽を体験したことがない理由 (%)								
		そもそも知らなかった	興味がない	所や機会が体験できなかつたような場所	か参加する時間がとれない	あ体験するときを知らなかつた機会があつた	分体験からできる詳しい内容が	心他の向いて興味や楽しさの方に	自らの趣味と合わない	その他
全 体	18,515	13.2	39.7	14.4	3.4	6.5	3.7	8.2	29.2	0.4
盆栽の種類や育て方、剪定や鑑賞の仕方を教えてくれる	3,683	17.2	27.7	41.1	8.1	18.9	10.3	15.0	7.3	0.7
盆栽の歴史や意義を教えてくれる	1,603	15.8	25.9	41.2	14.5	20.4	12.9	14.7	7.4	0.5
盆栽を育てるのに必要となる道具や環境等を詳しく教えてくれる	2,120	11.6	22.4	47.0	13.3	26.0	16.2	18.1	7.8	0.8
普段の生活の中で、盆栽をどのように楽しめばよいのか教えてくれる	3,027	12.6	27.4	38.1	8.3	20.0	12.4	18.9	10.7	0.5
その他	47	2.1	70.2	4.3	10.6	2.1	4.3	21.3	34.0	10.6
上記の中で当てはまるものはない	12,085	12.0	46.1	3.1	0.8	1.2	0.8	4.8	40.1	0.3



■「未経験」層と「参加体験あり」層の盆栽へのイメージの違い

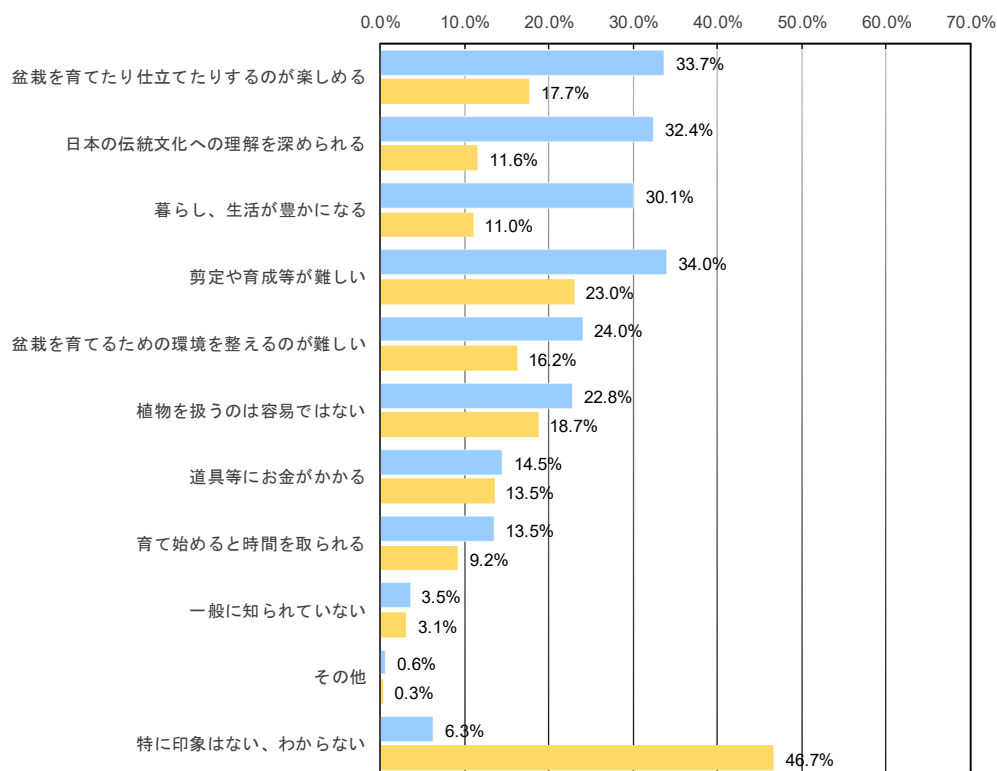
盆栽を育てたことがない、盆栽体験をしたことがないと回答した者が持つ盆栽に対するイメージについて、EQ19の結果では、「特に印象はない、わからない」(46.7%)、次いで「剪定や育成等が難しい」(23.0%)、「植物を扱うのは容易ではない」(18.7%)、「盆栽を育てたり仕立てたりするのが楽しめる」(17.7%)、「盆栽を育てるための環境を整えるのが難しい」(16.2%)、「道具等にお金がかかる」(13.5%)となっており、回答者は盆栽を育てたり盆栽体験をしたことがない者であるため、印象やイメージを持っていないという回答が多くなったものと考えられる。また、未経験者にとって、盆栽の剪定や育成は難しいものであると捉えられていることが分かる。

下のグラフは、盆栽体験に参加したことがある者のイメージ(EQ14)とEQ19の回答結果を比較したものである。

未経験者で最も回答比率が高かった「特に印象はない、わからない」の回答比率は参加体験を行うことで大幅に減っている一方、「盆栽を育てたり仕立てたりするのが楽しめる」、「日本の伝統文化への理解を深められる」、「暮らし、生活が豊かになる」といったプラスイメージに対する回答比率が未経験者と比べて、参加体験した者の方が回答比率は高くなっている。なお、「剪定や育成等が難しい」という回答については、未経験者・参加体験者共に回答比率が高いことが分かる。

以上のように、参加体験をすることで、盆栽が持つ魅力はもちろんのこと、剪定や育成の難しさなどについても明確なイメージを描けるようになっており、参加体験を行うことで盆栽の魅力を理解してもらえ可能性が大きいことが推察される。

未経験者と参加体験者の盆栽に対する印象やイメージの違い



■ イベント等で盆栽体験をしたことはある (N=887)

■ 盆栽を育てたり盆栽体験をしたりしたことはない (N=18,515)

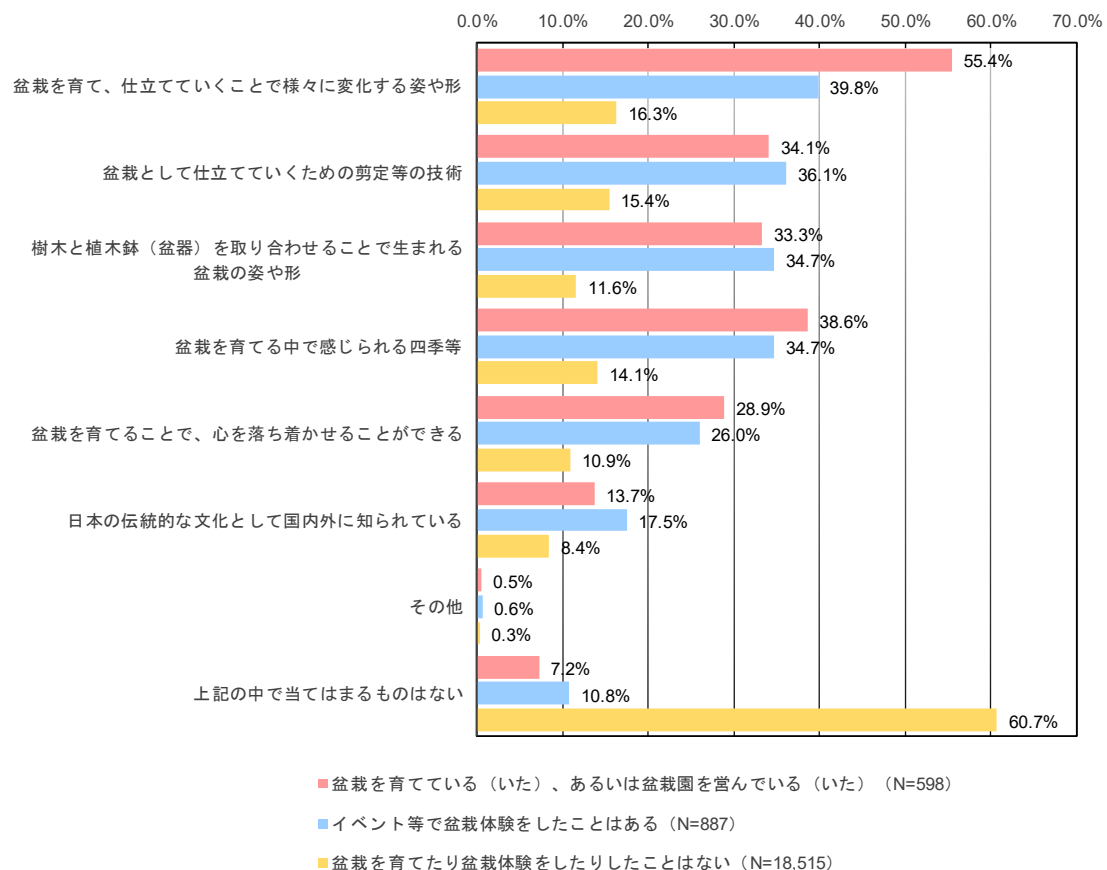
■「未経験」層と「参加体験あり」層、「経験あり」層の盆栽の魅力についての評価の違い

未経験者が盆栽に対する印象やイメージを具体的に描けないように、盆栽の魅力に対する設問（EQ 8、EQ 15、EQ 20）にも同様の傾向が見られる。

下のグラフを見ても分かるように、盆栽に関して未経験であると回答した者の6割は「上記の中で当てはまるものはない」（60.7%）と回答し、経験者と参加体験者の場合の回答比率と比較しても大きな差がある。

このことは、盆栽の魅力や興味関心に関する回答比率についてもいえ、参加体験者と未経験者を比較すると「盆栽を育て、仕立てていくことで様々に変化する姿や形」や「盆栽として仕立てていくための剪定等の技術」等の回答比率に大きな差が見られることから、イメージや印象と同じく実際に体験することの重要性がうかがえる。また、それぞれの回答者が考える盆栽の魅力や興味関心については、体験や経験を重ねることで、仕立てていく中で盆栽の姿や形が変化することや、盆栽を育てる中でその姿に感じる四季などに魅力や興味関心を感じるようになる傾向があると考えられる。

各回答者における盆栽に対する興味関心や魅力の違い



上記のクロス集計の結果から、盆栽を育てたり盆栽体験をしたりしたことがないと回答した者の特徴や傾向をまとめると、以下のとおりである。

1) 盆栽に興味関心がある者の属性に関する傾向と特徴

盆栽に関して未経験であると回答した者のうち、参加体験の意向を示さない者が65.3%いる

一方、34.7%が体験内容に関する選択肢をいずれか選択しており、未経験者の中でも機会があれば参加したいという意向を持つ者がいる。

これら参加意向を示す者は、盆栽について未経験と回答したほかの者と比べた場合、趣味・娯楽等の活動に対して決して消極的ではなく、また、消費行動に対しての明確な意見を有し、普段から幅広いメディア、特にウェブメディア等に触れている傾向が見られる。

2) 未経験者が考える参加しやすい体験の条件と内容についての傾向と特徴

E Q16、E Q17のクロス集計の結果から、未経験者のうち、参加体験をしたいとの意向を示した者は、手頃な参加費用と盆栽展や盆栽園等で体験したい、の2点を参加体験の条件としてとりわけ重視している傾向が見えてくる。また、盆栽を育てようと考えている者については、具体的な参加条件を回答している傾向にあり、このような者に対して参加体験を促すのであれば、具体的な体験機会の内容や条件などを示しておいた方が良いと考えられる。

また、E Q16 と E Q18 とのクロス集計の結果からは、具体的な体験内容を回答した者ほど、体験できなかった事情・理由として「気軽に体験できそうな場所や機会がなかった」、「体験できる場所や機会があることを知らなかった」と回答しており、参加体験の意向を持つ者の多くが、盆栽を体験する機会を得ることができなかったことが分かる。また、「そもそも知らなかった」と回答する者の中でも体験に参加する意向がある者がいることから、盆栽そのものの周知を行うことで、参加体験を希望する者に機会を提供できる可能性があると考えられる。

3) 盆栽の印象や魅力に関する傾向と特徴

未経験者の場合、盆栽に対する印象や魅力について、未経験であるが故に、具体的なイメージや魅力は分からないという当然の結果が導かれた。その点を踏まえて、経験者や参加体験者との印象や魅力への回答の差を見ると、参加体験や経験を重ねることで、具体的な印象やイメージ、魅力を描くことができるようになることが分かる。また、経験を重ねた者ほど、仕立てていくことで変化する盆栽の姿や形、盆栽に感じる四季など、実際に育て続けることで初めて実感することができる魅力等に対する回答比率が高い傾向にあるといえる。

参加体験ありと回答した者の傾向と特徴

次に、参加体験ありと回答した者の回答傾向を分析する。参加体験をした者は、何らかのきっかけがあって盆栽体験する機会を得ており、しかし、自ら盆栽を育てるまでには至ってはいない者と捉えることができる。ではどのような状況で体験機会を得たのか、また、盆栽を育てるまでに至らない事情や理由等があるのかをクロス集計を用いてその傾向と特徴を分析する。

■参加体験者の体験のきっかけと機会

体験のきっかけ（EQ 9）を問う設問の結果から、「親や兄弟姉妹、祖父母など家族が育てていた」（30.3%）の回答比率が最も高く、次いで「学校や職場で育てられているものや、公園や庭園、文化施設等で行われているイベントで見た」（26.2%）、「友人、知人などが盆栽を育てていて、勧められた・誘われた」（18.8%）、「趣味や教養として盆栽に興味関心があり、盆栽展等で鑑賞した」（18.4%）、「テレビや映画、雑誌、漫画、ウェブメディア等で知った」（15.2%）となっており、親族等が盆栽を育てていたことが体験するきっかけとして大きいことが分かる。また、盆栽を体験した場（EQ 10）については「文化施設等で行われた体験イベント」（36.1%）の回答比率が高く、次いで「盆栽園や愛好者の団体等が主催する体験会」（29.1%）、「自宅」（22.7%）と続いている。

体験したきっかけと体験機会の関係性の特徴や傾向を明らかにするため、EQ 9とEQ 10のクロス集計の結果が下の表である。

体験したきっかけとして最も回答比率が高かった、「親や兄弟姉妹、祖父母など家族が育てていた」（30.3%）を回答した者の場合、「自宅」（48.8%）が最も回答比率が高く、次に「盆栽園や愛好者の団体等が主催する体験会」（41.9%）の回答比率が高い傾向にある。他方、「学校や職場で育てられているものや、公園や庭園、文化施設等で行われているイベントで見た」（26.2%）を回答した者の場合は、「学校の授業や職場の研修会」（39.5%）、「文化施設等で行われた体験イベント」（38.8%）における回答比率が高い。また、「趣味や教養として盆栽に興味関心があり、盆栽展等で鑑賞した」（18.4%）と回答した者では、「盆栽園や愛好者の団体等が主催する体験会」（31.4%）の回答比率が特に高く、次に「文化施設等で行われた体験イベント」（25.0%）と続く。

以上のように、親族等が盆栽を育てていた場合、自宅で盆栽体験している傾向が強く、学校や職場、庭園等で盆栽を見たことがきっかけで体験した者は、学校や職場、文化施設等で体験機会を得ていることが分かる。また、盆栽展等で盆栽の鑑賞をしていた者は盆栽園等が開く体験会に参加している。身近に盆栽を育てている人がいる場合は、自宅はもちろんのこと、盆栽園等が主催する体験会等が体験機会となっているほか、一般の人向けには学校や職場、文化施設等の体験イベントが体験機会として大きな位置を占めているものと推察される。

盆栽を体験した場×盆栽を体験したきっかけ

(%)

	EQ9盆栽を体験したきっかけ									
	ど親 家や 族兄 が弟 育姉 て妹 、祖 た父 母な	いど親 た家や 族兄 が弟 盆姉 裁妹 園、 を祖 営父 ん母 でな	た育友 ・て人 誘わい れた知 た人 、な ど盆 めが裁 られを	て園い い、る 文もや イ化の ベ施や ン設、 ト等公 で育 で見行 たわ庭 れ	知画テ つ、レ たウビ エや ブ映 メ画 デ、 イア 等、 漫	等興趣 で味味 鑑関や 賞心が したあ り、て 盆盆 裁裁 展に	興盆 味裁 関に 心が あ仕 つ事 たや 職業 に	し野自 ての分 い趣が た味行 ・っ 習て い 事と 別 関の 係分	そ 他	
全体	887	30.3	14.1	18.8	26.2	15.2	18.4	5.2	8.2	1.2
盆栽園や愛好者の団体等が主催する体験会	258	41.9	13.6	21.3	26.0	14.7	31.4	5.8	5.8	0.8
学校の授業や職場の研修会	195	21.5	33.3	28.2	39.5	16.9	12.8	5.6	6.7	-
文化施設等で行われた体験イベント	320	28.1	13.1	23.8	38.8	21.9	25.0	5.0	4.4	1.6
自宅	201	48.8	10.9	17.9	16.9	17.9	19.9	6.5	10.9	1.0
自分が行っている分野の趣味・習い事の中で体験	123	22.8	13.0	13.0	17.1	16.3	18.7	12.2	30.1	-
その他	11	18.2	-	36.4	27.3	27.3	9.1	-	-	27.3

※n=30未満は参考値のため灰色

■盆栽を育てやすい状況

盆栽を育てやすい状況（EQ11）に関する設問の結果では、「通いやすい場所に相談に乗ってもらえる盆栽園等があったら」（33.1%）の回答比率が最も高く、次いで「知人、家族と一緒に育てることができたら」（29.1%）、「家族や知人等、身近な人から育て方等を教えてもらえたら」（28.4%）と続いている。一方、盆栽に支払える月額費用（EQ12）を見ると、「5,000円未満」（43.9%）、「5,000円以上～10,000円未満」（27.8%）と続き、回答者の約70%が1万円未満の費用であれば盆栽を育て始めやすいと回答している。

EQ11とEQ12のクロス集計の結果を見ると、「5,000円未満」（43.9%）を選択した者の中では、「わからない」（74.1%）の回答比率が最も高く、次いで「育て方や剪定の仕方等をわかりやすく示している雑誌や専門誌があったら」（50.6%）、「家族や知人等、身近な人から育て方等を教えてもらえたら」（49.2%）と続いており、「わからない」を除いて、専門誌や身近な人から手ほどきを受けながら手軽な値段で始めたい者がいることが分かる。

一方、「5,000円以上～10,000円未満」（27.8%）と回答した者の場合、「知人、家族と一緒に育てることができたら」（31.0%）、「通いやすい場所に相談に乗ってもらえる盆栽園等があったら」（29.6%）との回答が全体平均を上回っており、こちらもある程度気軽ではあるが、専門家に相談に乗ってもらいたいと考えている。支払う費用が上がると、「通いやすい場所に相談に乗ってもらえる盆栽園があったら」との回答比率が少し高くなると共に、「習う時間帯を調整してもらいやすかったら」の回答比率も高くなっている傾向から、支払える金額の回答が高いほどに盆栽を本格的に育てようとする意向が見えてくる。

盆栽を育てやすい状況×盆栽に支払える月額費用

(%)

	n=	EQ12盆栽に支払える月額費用										
		5 0 0 0 0 円未 満	15 0 0 0 0 円未 満	11 5 0 0 0 円未 満	21 0 5 0 0 円未 満	22 5 0 0 0 円未 満	32 0 5 0 0 円未 満	33 5 0 0 0 円未 満	43 0 5 0 0 円未 満	44 5 0 0 0 円未 満	54 0 5 0 0 円未 満	5 0 0 0 0 円未 満
全体	887	43.9	27.8	9.8	5.6	5.1	2.9	1.6	0.7	0.6	0.5	1.6
家族や知人等、身近な人から育て方等を教えてもらえたら	252	49.2	29.4	7.9	2.4	4.8	3.2	0.4	-	0.8	0.8	1.2
知人、家族と一緒に育てることができたら	258	33.7	31.0	15.5	6.6	6.6	2.7	0.8	0.8	-	0.4	1.9
通いやすい場所に相談に乗ってもらえる盆栽園等があったら	294	35.0	29.6	10.2	8.8	6.1	4.8	2.7	0.3	0.7	0.7	1.0
必要な道具等が借りられたら	184	44.6	27.7	4.9	8.7	6.5	3.3	1.6	-	0.5	0.5	1.6
習う時間帯を調整してもらいやすかったら	120	37.5	25.0	9.2	9.2	10.0	3.3	2.5	-	1.7	-	1.7
育て方や剪定の仕方などをわかりやすく示している雑誌や専門誌があったら	154	50.6	26.0	5.2	3.9	4.5	1.3	3.2	1.9	1.3	0.6	1.3
その他	5	80.0	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
わからない	108	74.1	14.8	2.8	0.9	0.9	1.9	-	-	-	-	4.6

※n=30未満は参考値のため灰色

次に、盆栽を育てていない理由（EQ13）に関する設問の結果では、「通いやすい場所に、盆栽の育て方等の相談に乗ってくれる場所がなかった」（28.1%）が最も多く、次いで「盆栽を育てるための十分な時間が取れそうになかった」（21.8%）、「植物の育て方や管理の仕方などが難しいと思う」（20.9%）と続く。EQ11の習う状況とのクロス集計を行い、参加体験者が習いやすい状況について分析を行う。

EQ11で育てやすい状況について「わからない」（12.2%）と回答した者のうち、EQ13で育てていない理由について「自分の趣味と合わない」（41.7%）、「興味がなかった」（31.5%）の回答比率が高く、盆栽体験をしても興味関心が湧かなかった者が一定数いることが確認できる。

一方、参加しやすい状況として「通いやすい場所に相談に乗ってもらえる盆栽園等があったら」（33.1%）と回答した者が習っていない理由として、「盆栽の育て方等の相談をできる人が身近になかった」（50.7%）、「一緒にやってくれる人がいない」（50.5%）、「盆栽を育てるための十分な時間が取れそうになかった」（48.7%）と続いており、その他の選択肢についても、全体平均を大きく上回っていることから、盆栽のことを相談できる場所が、参加体験者にとって、盆栽を育て始める際に条件として重視されている傾向が見て取れる。また、「必要な道具等が借りられたら」、「育て方や剪定の仕方などをわかりやすく示している雑誌や専門誌があったら」と回答した者の場合も、育てていない理由や事情についての回答比率が高い傾向が見える。

盆栽を育てていない理由×盆栽を育てやすい状況

(%)

	n=	EQ11盆栽を育てやすい状況									
		からえられたら	家族や知人等を、教身近ても	知人が家族と一緒に育て	があつてもうらえる盆栽園等に	通いやうい場所相談に	必要な道具等が借りられ	ら習う時間帯を調整しても	たをわたりや専門誌があつ	育て方や剪定の仕方等な	その他
全体	887	28.4	29.1	33.1	20.7	13.5	17.4	0.6	12.2		
興味がなかった	143	32.9	16.8	15.4	19.6	11.9	11.2	0.7	31.5		
通いやうい場所に、盆栽の育て方等の相談に乗ってくれる場所がなかった	249	35.7	45.4	44.6	19.7	12.4	16.1	-	3.6		
始めるための費用が確保できなかった	139	22.3	33.8	44.6	36.0	23.0	19.4	0.7	5.8		
盆栽を育てるための十分な時間が取れそうになかった	193	30.1	29.5	48.7	33.7	24.4	22.8	0.5	2.1		
一緒にやってくれる人がいない	101	31.7	30.7	50.5	41.6	16.8	21.8	-	2.0		
盆栽の育て方等の相談をできる人が身近にいなかった	138	33.3	32.6	50.7	31.9	21.0	31.9	-	2.2		
植物の育て方や管理の仕方などが難しいと思う	185	32.4	29.2	46.5	30.3	17.8	33.0	0.5	6.5		
盆栽を育てて管理できる場所がない	134	29.9	24.6	38.8	26.9	20.9	32.1	1.5	10.4		
他の趣味や娯楽の方に心が向いている	129	38.0	37.2	34.9	24.0	14.7	34.1	0.8	8.5		
自分の趣味と合わない	60	20.0	23.3	10.0	11.7	8.3	16.7	1.7	41.7		
その他	14	28.6	35.7	14.3	14.3	-	21.4	7.1	35.7		

※n=30未満は参考値のため灰色

上記のクロス集計の結果から、盆栽体験をしたことがあると回答した者の特徴や傾向をまとめると、以下のとおりである。

1) 参加体験者の体験機会ときっかけの傾向と特徴

EQ 9 と EQ 10 のクロス集計結果の分析から、親族等が盆栽を育てていた場合は自宅で体験しているほか、盆栽園等でも体験機会を得ている。また、学校や職場、文化施設等で鑑賞した者は同じ場で体験機会を得ている傾向が見られ、きっかけの違いが体験機会の場と強い関係性があるものと推察される。一般的には、文化施設等でのイベント等で体験機会を得る機会が多いものと考えられるが、興味関心があり盆栽展等で盆栽を鑑賞している者に対しては、盆栽園等が主催する体験イベント等で体験機会を得ていることから、このような体験機会を広く周知することによって、興味関心がある者の体験機会への参加をより促すことができる可能性があると考えられる。

2) 参加体験者が考える育てやすい状況や内容についての傾向と特徴

参加体験者が盆栽を育て始めやすい状況や内容について、月に支払える費用と盆栽を育て始めやすい状況とのクロス集計結果からは、月額費用として 10,000 円未満の金額であれば始めやすい傾向にあり、5,000 円～10,000 円程度の回答者は気軽に始めたいと考えている傾向が回答比率から推察される。他方、回答している金額が多くなるほど、盆栽を育てるにあたって育成等の相談にのってもらいやすい状況を選択していることから、多くの金額を回答した者ほど、

本格的に盆栽を育てても良いと考えている者と捉えることができる。

盆栽を育てていない理由と育てやすい状況とのクロス集計結果からは、盆栽体験を参加しても盆栽を育てることに興味を持てなかった者が一定数いる一方で、興味関心があっても盆栽の育て方等に相談できる場所や人がいない等の事情があることが分かる。

経験ありと回答した者の傾向と特徴

経験ありと回答した者の回答傾向について分析を行う。経験者がどのような経緯や場所で盆栽を育て始め、どの程度の者が継続してきたのかを分析することで、参加体験者と未経験者との違いを明らかにする。

■始めたきっかけと継続性及び継続理由

盆栽を育て始めたきっかけ（EQ1）の結果では、「親や兄弟姉妹、祖父母など家族が育てていた」（43.8%）が最も回答比率が高く、次いで「趣味や教養として、盆栽に興味関心があった」（29.8%）、「友人、知人などが盆栽を育てていて勧められた・誘われた」（18.1%）、「学校や職場で育てられているのを見たり、公園や庭園、盆栽園や盆栽展、文化施設等のイベントで鑑賞や体験をしたりした」（16.2%）と続いており、回答者の親族等が盆栽を育てていたり、回答者自身が盆栽に興味関心があった、友人・知人等が育てていたなど、盆栽に関する情報やイベントが身近にあったものと推察される。

まず、盆栽を育て始めたきっかけ（EQ1）と現在の継続状況（EQ3）についてクロス集計を行い、始めたきっかけと継続率の関係を分析する。継続率の全体平均（51.8%）に対し、「親や兄弟姉妹、祖父母など家族が盆栽園を営んでいた」（80.0%）、「学校や職場で育てられているのを見たり、公園や庭園、盆栽園や盆栽展、文化施設等のイベントで鑑賞や体験をしたりした」（61.9%）、が特に回答比率が高く、親族等が盆栽園を営んでいた者、イベント等で鑑賞をしたことをきっかけとして、盆栽を育て始めた者の継続率が高い傾向にある。

盆栽を育て始めたきっかけ×現在の継続状況

	n=	EQ3 活動の継続 (%)	
		続けている	続けない
全体	598	51.8	48.2
親や兄弟姉妹、祖父母など家族が育てていた	262	54.2	45.8
親や兄弟姉妹、祖父母など家族が盆栽園を営んでいた	70	80.0	20.0
友人、知人などが盆栽を育てていて勧められた・誘われた	108	57.4	42.6
学校や職場で育てられているのを見たり、公園や庭園、盆栽園や盆栽展、文化施設等のイベントで鑑賞や体験をしたりした	97	61.9	38.1
テレビや映画、雑誌、漫画、ウェブメディア等で知った	62	48.4	51.6
趣味や教養として、盆栽に興味関心があった	178	52.2	47.8
盆栽に係る仕事や職業に興味関心があった	33	57.6	42.4
自分が行っている別の分野の趣味・習い事と関係していた	46	52.2	47.8
その他	12	58.3	41.7

※n=30未満は参考値のため灰色

次に、継続理由に関する設問（EQ3補問1）では、「盆栽に愛着が湧いた（盆栽を育てるのが純粋に楽しい）」（42.9%）の回答比率が最も高く、次いで「日本の文化だから」（29.4%）、「暮らし、生活の一部となった（盆栽を育てることが生きがいとなった）」（26.8%）、「盆栽の形造りや剪定や培養など、奥深い文化をもっと知りたい」（24.8%）と続いている。

始めたきっかけ（EQ1）とのクロス集計を行い、継続する理由ときっかけの関係性について分析を行うと、まず継続理由として最も回答比率が高かった「盆栽に愛着が湧いた（盆栽を育てるのが純粋に楽しい）」（42.9%）と回答した者の中でも「趣味や教養として、盆栽に興味関心があった」（73.1%）、「学校や職場で育てられているのを見たり、公園や庭園、盆栽園や盆栽展、文化施設等のイベントで鑑賞や体験をしたりした」（63.3%）、「テレビや映画、雑誌、漫画、ウェブメディア等で知った」（53.3%）の回答比率が全体平均と比べると特に高く、「盆栽の形造りや剪定や培養など、奥深い文化をもっと知りたい」（24.8%）でも近い傾向が見られる。盆栽への愛着が継続理由となっていることから、盆栽への興味関心などがきっかけとして盆栽を愛好しているものと推察される。

一方、「盆栽園を営みたい（営んでいる）」（19.0%）を回答した者の場合、始めたきっかけとして「親や兄弟姉妹、祖父母など家族が盆栽園を営んでいた」（42.9%）と全体平均と比べると回答比率が特に高く、また、「親や兄弟姉妹、祖父母など家族が育てていた」（29.6%）も回答比率が高い傾向にあり、身近に盆栽があった者の場合、盆栽園を営みたい（営んでいる）ことが続いている理由となっていることが分かる。

このほか、「日本の文化だから」（29.4%）と回答した者の中では、「親や兄弟姉妹、祖父母など家族が盆栽園を営んでいた」（73.2%）が極めて回答比率が高いほか、「テレビや映画、雑誌、漫画、ウェブメディア等で知った」（43.3%）、「学校や職場で育てられているのを見たり、公園や庭園、盆栽園や盆栽展、文化施設等のイベントで鑑賞や体験をしたりした」（41.7%）の回答比率も高い。また、「一緒に楽しむ仲間がいる」（17.4%）においても、近似した傾向があることから、職業として盆栽園を営みたい、愛好者として盆栽を楽しんでいると考えられる者、いずれも盆栽が日本の文化であること、また、仲間と楽しむことができるものと捉えている傾向が見られる。

盆栽を育て始めたきっかけ×盆栽を続けている理由

	n=	EQ3補問1 盆栽を続けている理由 (%)									
		で盆栽園を営みたい（営んでいる）	日本の文化だから	一緒に楽しむ仲間がいる	もつと知り奥深い文化を培	盆栽の形造りや剪定や培養など、奥深い文化をもっと知りたい	盆栽に愛着が湧いた（盆栽を育てるのが純粋に楽しい）	となら（盆栽を育てるとこ	暮らし、生活の一部	その他	特に理由はない
全体	310	19.0	29.4	17.4	24.8	42.9	26.8	-	9.0	1.9	
親や兄弟姉妹、祖父母など家族が育てていた	142	29.6	29.6	21.8	24.6	45.1	31.7	-	8.5	0.7	
親や兄弟姉妹、祖父母など家族が盆栽園を営んでいた	56	42.9	73.2	33.9	32.1	21.4	23.2	-	-	-	
友人、知人などが盆栽を育てていて勧められた・誘われた	62	21.0	38.7	38.7	35.5	48.4	29.0	-	9.7	-	
学校や職場で育てられているのを見たり、公園や庭園、盆栽園や盆栽展、文化施設等のイベントで鑑賞や体験をしたりした	60	20.0	41.7	28.3	45.0	63.3	33.3	-	0.0	-	
テレビや映画、雑誌、漫画、ウェブメディア等で知った	30	26.7	43.3	33.3	53.3	53.3	33.3	-	3.3	6.7	
趣味や教養として、盆栽に興味関心があった	93	8.6	26.9	22.6	37.6	73.1	43.0	-	9.7	-	
盆栽に係る仕事や職業に興味関心があった	19	36.8	47.4	31.6	52.6	78.9	63.2	-	5.3	-	
自分が行っている別の分野の趣味・習い事と関係していた	24	25.0	33.3	29.2	29.2	62.5	58.3	-	12.5	8.3	
その他	7	-	-	14.3	28.6	85.7	42.9	-	-	14.3	

※n=30未満は参考値のため灰色

一方、盆栽から離れたきっかけや理由（EQ3補問2）を見ると、「盆栽の育成ができる環境を維持できなくなった」（41.0%）と「時間がなくなった」（29.5%）が大きな理由となっている。

始めたきっかけ（EQ1）と離れたきっかけをクロス集計しその関係を分析すると、回答比率が最も高い「盆栽の育成ができる環境を維持できなくなった」（41.0%）と回答した者の場合、始めたきっかけとして「学校や職場で育てられているのを見たり、公園や庭園、盆栽園や盆栽展、文化施設等のイベントで鑑賞や体験をしたりした」（29.7%）の回答比率が全体平均を大きく下回っているほか、「テレビや映画、雑誌、漫画、ウェブメディア等で知った」（34.4%）も回答比率が下回っている。また、「親や兄弟姉妹、祖父母など家族が育てていた」（45.8%）、「友人、知人などが盆栽を育てていて勧められた・誘われた」（45.7%）、「趣味や教養として、盆栽に興味関心があった」（42.4%）の3項目は全体平均を少し上回っている。

一方、「時間がなくなった」（29.5%）と回答した者の場合、「学校や職場で育てられているのを見たり、公園や庭園、盆栽園や盆栽展、文化施設等のイベントで鑑賞や体験をしたりした」（37.8%）、「友人、知人などが盆栽を育てていて勧められた・誘われた」（37.0%）、「親や兄弟姉妹、祖父母など家族が育てていた」（35.0%）と、それぞれ全体平均を上回る回答比率となっている。

以上の傾向を見ると、盆栽を育てる場所、盆栽を育てるための時間いずれかが維持できなくなると継続しにくい傾向にあるものと推察される。

盆栽を育て始めたきっかけ×盆栽から離れたきっかけや理由

		EQ3補問2 盆栽から離れたきっかけ (%)									
		時間がなくなった	盆栽の育成ができなくなった環境	場所入が等相談をできる	興味を失った	く経済的に続けるのが難し	こ健康とが難しく体面で続ける	れ家族や仲間の手が借りられる	一緒に世話をしてくれ	盆栽園を閉鎖した	その他
	n=										
全体	288	29.5	41.0	14.9	21.9	8.3	7.6	12.2	2.1	3.5	
親や兄弟姉妹、祖父母など家族が育てていた	120	35.0	45.8	15.8	16.7	7.5	7.5	17.5	1.7	0.8	
親や兄弟姉妹、祖父母など家族が盆栽園を営んでいた	14	14.3	64.3	42.9	14.3	7.1	21.4	7.1	-	-	
友人、知人などが盆栽を育てていて勧められた・誘われた	46	37.0	45.7	17.4	15.2	8.7	10.9	8.7	2.2	2.2	
学校や職場で育てられているのを見たり、公園や庭園、盆栽園や盆栽展、文化施設等のイベントで鑑賞や体験をしたりした	37	37.8	29.7	16.2	16.2	8.1	5.4	8.1	2.7	13.5	
テレビや映画、雑誌、漫画、ウェブメディア等で知った	32	25.0	34.4	18.8	25.0	3.1	18.8	15.6	-	3.1	
趣味や教養として、盆栽に興味関心があった	85	27.1	42.4	16.5	27.1	8.2	10.6	11.8	1.2	4.7	
盆栽に係る仕事や職業に興味関心があった	14	21.4	50.0	28.6	14.3	14.3	21.4	14.3	7.1	-	
自分が行っている別の分野の趣味・習い事と関係していた	22	27.3	31.8	13.6	31.8	13.6	13.6	18.2	4.5	-	
その他	5	40.0	60.0	20.0	40.0	20.0	-	-	-	20.0	

※n=30未満は参考値のため灰色

以上のようなクロス集計の結果からは、親族等が盆栽園を営んでいた者や、イベント等で盆栽の鑑賞をしたことをきっかけとして盆栽を育て始めた者の継続率は高い傾向にある。また、親族等が盆栽園を営んでいたたりした場合は、回答者自身も盆栽園を営んでいる場合が多く、親族等が盆栽を育てている場合でも盆栽を営もうと考えている者もいることが継続理由の回答傾向から推察される。

その一方で、イベント等で鑑賞したり、メディア等で知ったり、友人・知人に誘われたりした者は、盆栽への愛着があり愛好者として継続している。

一方、盆栽を継続できていない理由についてのクロス集計からは、始めたきっかけとの関係性の中で特定の傾向は見えなかったが、盆栽を育成するための場所や育成するための時間、いずれかが維持できなくなると、継続しにくくなる傾向が見られる。

■活動内容

盆栽に関する活動内容（EQ5）の結果では、「自宅等で盆栽の手入れをしている（いた）」（80.1%）が最も回答比率が高く、次いで「盆栽園に盆栽を預けて手入れをしてもらっている（いた）」（14.9%）、「盆栽を盆栽展に出品している（いた）」（8.0%）と続く。

まず、活動内容（EQ5）と現在の継続状況（EQ3）についてクロス集計を行い、活動内容と継続率の関係を分析する。このうち継続していると回答した者（51.8%）の中で、「盆栽を盆栽展に出品している（いた）」（79.2%）、「盆栽園や盆栽の教室等で習っている（いた）」（77.1%）、「盆栽園に盆栽を預けて手入れをしてもらっている（いた）」（74.2%）と続く。

盆栽に関する活動内容×現在の継続状況

	n=	EQ3 現在の継続状況 (%)	
		続けている	続けない
全体	598	51.8	48.2
自宅等で盆栽の手入れをしている(いた)	479	49.1	50.9
盆栽園に盆栽を預けて手入れをもらっている(いた)	89	74.2	25.8
盆栽を盆栽展に出品している(いた)	48	79.2	20.8
盆栽園や盆栽の教室等で習っている(いた)	35	77.1	22.9
カルチャーセンターの講座等を受講している(いた)	33	63.6	36.4
盆栽園を営んでいる(いた)	16	75.0	25.0
講師として教室や体験会、講座を開いている(いた)	14	71.4	28.6
その他	8	12.5	87.5

※n=30未満は参考値のため灰色

次に活動内容（EQ5）と毎月使う費用（EQ7）についてクロス集計を行い、関係性を分析する。

「5,000円未満」（66.6%）と回答した者のうち、「自宅等で盆栽の手入れをしている（いた）」（75.6%）と回答した者以外の項目は、全体平均を下回っている。また、5,000円以上の費用を見ると、「盆栽園に盆栽を預けて手入れをもらっている（いた）」と回答した者の場合、5,000円以上25,000円未満の金額帯で全体平均の回答比率を上回っており、特に「5,000円以上～10,000円未満」（28.1%）の回答比率が高い。また、「盆栽を盆栽展に出品している（いた）」と回答した者の場合、10,000円以上を月額費用として払っている傾向にあり、自宅で盆栽の手入れをしている者、盆栽園に預けて手入れをしている者、盆栽展の出品まで視野に入れている者で、月額費用の傾向が大きく異なるといえる。

盆栽に関する活動内容×盆栽に関する月額費用

		EQ7 盆栽に関する月額費用 (%)											
		5000円未満	1500円以上 5000円未満	1100円以上 5000円未満	2100円以上 5000円未満	2200円以上 5000円未満	3200円以上 5000円未満	3300円以上 5000円未満	4300円以上 5000円未満	4400円以上 5000円未満	5400円以上 5000円未満	5000円以上	合計
n=30以上で	n=												
全体	598	66.6	14.4	5.2	3.5	3.7	1.2	1.3	1.2	0.7	0.8	1.5	19.1
自宅等で盆栽の手入れをしている(いた)	479	75.6	11.7	3.8	2.3	2.1	0.6	0.6	0.8	0.4	0.4	1.7	12.7
盆栽園に盆栽を預けて手入れをしてもらっている(いた)	89	23.6	28.1	12.4	9.0	10.1	1.1	3.4	4.5	-	2.2	5.6	48.3
盆栽を盆栽展に出品している(いた)	48	22.9	12.5	10.4	6.3	20.8	4.2	4.2	8.3	4.2	-	6.3	64.6
盆栽園や盆栽の教室等で習っている(いた)	35	22.9	17.1	14.3	11.4	17.1	-	2.9	5.7	-	-	8.6	60.0
カルチャーセンターの講座等を受講している(いた)	33	42.4	12.1	6.1	3.0	18.2	-	3.0	3.0	-	3.0	9.1	45.5
盆栽園を営んでいる(いた)	16	6.3	18.8	6.3	18.8	6.3	-	6.3	12.5	6.3	-	18.8	75.0
講師として教室や体験会、講座を開いている(いた)	14	14.3	7.1	-	7.1	-	7.1	7.1	14.3	-	14.3	28.6	78.6
その他	8	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※n=30未満は参考値のため灰色

■経験年数

盆栽を続けている年数（EQ4）の結果では、「1～3年未満」（22.1%）の回答比率が最も高く、次いで「3～5年未満」（20.1%）、「1年未満」（12.5%）と続いている。

経験年数（EQ4）と習い始めたきっかけ（EQ1）のクロス集計を行い関係性について分析する。まず、習い始めたきっかけとして回答比率が最も高かった「親や兄弟姉妹、祖父母など家族が育てていた」（43.8%）を回答した者のうち、「1年未満」（56.0%）、「10～20年未満」（54.4%）が平均を大きく上回っている一方、「1～3年未満」（34.8%）、「3～5年未満」（35.8%）の経験年数については、全体平均を下回る結果となっている。一方、「親や兄弟姉妹、祖父母など家族が盆栽園を営んでいた」（11.7%）と回答した者の場合、5年以上の経験年数の回答比率が全体平均より低く、「1年～3年未満」（22.0%）の回答比率が全体平均を大きく上回っているほか、「3～5年未満」（15.8%）の回答比率も全体平均を上回っている。

また、「趣味や教養として、盆栽に興味関心があつた」（29.8%）と回答した者の中では、「1年未満」（18.7%）の回答比率が全体平均を大きく下回っているほか、「1～3年未満」（22.0%）も全体平均を下回っている。その一方、「10～20年未満」（35.3%）、「20年以上」（47.0%）と、10年以上の盆栽を育てている者が多いことが分かる。

これらの傾向を見る限り、親族等が盆栽を育てていた場合や、盆栽に興味関心を持ったことをきっかけとして盆栽を育て始めた場合については経験年数が長い傾向にある一方、親族等が盆栽園を営んでいたことをきっかけとして盆栽を育て始めた者については、経験年数が短い者が多いことがうかがえる。

盆栽を続けている年数×盆栽を育て始めたきっかけ

(%)

		EQ1 盆栽を始めたきっかけ															
		ど親や家族が育ててくれた	いと家族が育ててくれた	親や兄弟姉妹を祖父母で	誘われていた	友人や知人などが勧められた	鑑賞や体験をした	文庫や施設等での展示	庭園や盆栽園での見学会	学校の職場で育てられた	知った	テレビや映画、雑誌、漫画	趣味や教養として	興味関心がある仕事や職業に	盆栽に係る仕事や職業に	野分が趣味・習っている事と関係の係	その他
	n=																
全体	598	43.8	11.7	18.1				16.2		10.4	29.8	5.5	7.7	2.0			
1年未満	75	56.0	9.3	17.3				9.3		8.0	18.7	2.7	9.3	1.3			
1~3年未満	132	34.8	22.0	21.2				15.9		16.7	22.0	3.8	5.3	3.0			
3~5年未満	120	35.8	15.8	15.0				22.5		10.0	30.0	5.0	7.5	1.7			
5~10年未満	120	45.0	6.7	15.8				16.7		6.7	30.0	5.8	5.8	0.8			
10~20年未満	68	54.4	2.9	19.1				14.7		7.4	35.3	8.8	11.8	1.5			
20年以上	83	48.2	6.0	20.5				14.5		10.8	47.0	8.4	9.6	3.6			

次に経験年数（EQ4）と育て方や剪定の仕方を学んだ方法を選んだ理由（EQ2補問）のクロス集計を行い関係性について分析する。学んだ方法を選んだ理由として最も回答比率が高かった「手軽にやってみたかった」（38.0%）を回答した者のうち、「10~20年未満」（47.1%）、「20年以上」（43.4%）の回答比率が全体平均よりも高い傾向にある。また、「家族や友人等と一緒に良かった」（27.4%）を回答した者のうち、「10~20年未満」（39.7%）が全体平均を大きく上回っているほか、「1年未満」（34.7%）、「20年以上」（32.5%）の回答比率も全体平均より高い。

これらの傾向を見る限り、手軽にやってみたかったと考えた者や、家族や友人等と一緒に盆栽を育てる始めた者についても経験年数が長いことが分かる。

盆栽を続けている年数×育て方や剪定の仕方を学んだ方法を選んだ理由

(%)

		EQ2補問 その方法を選んだ理由										
		か家族や友人等と一緒に良かった	通いややすい場所だった	費用が手頃だった	道具等が借りられた	通いややすい時間帯だった	レム指し費用が具体的に示された	雑誌や専門誌の解説が分かりやすかった	本格的にやってみたかった	手軽にやってみたかった	その他	特に理由はない、わから
	n=											
全体	598	27.4	12.9	20.6	9.4	8.5	6.0	12.2	6.9	38.0	1.3	13.0
1年未満	75	34.7	12.0	20.0	12.0	6.7	4.0	8.0	5.3	30.7	2.7	10.7
1~3年未満	132	21.2	17.4	27.3	8.3	9.1	8.3	11.4	7.6	33.3	0.8	13.6
3~5年未満	120	17.5	13.3	18.3	5.8	9.2	5.8	10.0	2.5	40.8	0.8	14.2
5~10年未満	120	29.2	9.2	20.8	11.7	9.2	5.8	12.5	6.7	35.8	2.5	14.2
10~20年未満	68	39.7	11.8	14.7	7.4	7.4	5.9	11.8	8.8	47.1	-	10.3
20年以上	83	32.5	12.0	18.1	12.0	8.4	4.8	20.5	12.0	43.4	1.2	13.3

経験年数（EQ4）と盆栽に関する興味関心や魅力（EQ8）のクロス集計を行い関係性について分析する。興味関心や魅力として最も回答比率が高かった「盆栽を育て、仕立てていくことで様々に変化する姿や形」（55.4%）を回答した者の中では、1~5年未満の経験年数の者を除き、回答比率が全体平均をやや上回っており、広く盆栽の魅力として捉えられているものと推察される。

一方、「20年以上」の経験年数では「樹木と植木鉢（盆器）を取り合わせることで生まれる盆栽の姿や形」（45.8%）、「盆栽を育てる中で感じられる四季等」（57.8%）、「盆栽を育てることで、心を落ち着かせることができる」（42.2%）と、いずれも全体平均を大きく上回っており、その一方で、これらの項目は経験年数が1年未満の者では回答比率が全体平均を下回っていることから、特定の魅力については、継続や体験を重ねていくことで魅力として捉えられていく傾向にあるものと推察される。

盆栽を続けている年数×盆栽に関する興味関心や魅力

(%)

		EQ8 盆栽に関する興味関心や魅力								
		姿や形を育てる様々に仕立てている	盆栽の剪定等の技術	樹木と植木鉢（盆器）を合わせる	四季を育てる中で感じる	落ち着かせることで心が	日本内外に伝統的な文化として	その他	上記の中で当てはまるもの	
n=30以上で										
全体		55.4	34.1	33.3	38.6	28.9	13.7	0.5	7.2	
1年未満		56.0	26.7	28.0	26.7	16.0	12.0	1.3	5.3	
1～3年未満		48.5	33.3	32.6	31.8	22.7	9.8	1.5	6.8	
3～5年未満		50.8	35.0	24.2	30.8	30.0	14.2	-	7.5	
5～10年未満		58.3	36.7	37.5	41.7	30.8	13.3	-	7.5	
10～20年未満		60.3	35.3	33.8	50.0	33.8	17.6	-	2.9	
20年以上		63.9	36.1	45.8	57.8	42.2	18.1	-	12.0	

上記のクロス集計の結果から、盆栽を育てたことがあると回答した者の特徴や傾向をまとめると、以下のとおりである。

1) 盆栽を育て始めたきっかけと継続率に見える傾向と特徴

親族等が盆栽園を営んでいた者、イベント等で鑑賞をしたことをきっかけとして、盆栽を育て始めた者の継続率が高い傾向にあり、このうち、親族等が盆栽園を営んでいた者については、自身も盆栽園を営もうと思っている（営んでいる）と考え、一方、イベント等の鑑賞等をきっかけに盆栽を育て始めた者は盆栽の愛好者として、盆栽を育てていることが分かる。

ただし、継続できなくなった者も多く、盆栽を育てるための環境や育成にかかるための時間のいずれかが充足できなくなり、やむを得ず辞めてしまう者がいる。

2) 活動内容と継続している状況年数から見える傾向と特徴

盆栽展に出品している者や、盆栽園や盆栽教室に通っている者、盆栽園に預けて盆栽の手入れをしている者ほど、継続率は高い傾向にある。また、盆栽を自宅で育てて手入れをしている者ほど月額費用は低い傾向にあり、盆栽園に預けたりする者や盆栽展に出品する者ほど月額費用は高くなっている傾向にある。

3) 経験年数と盆栽を育て始めたきっかけや魅力から見える傾向と特徴

経験年数と盆栽を育て始めたきっかけとの関係を見ると、親族等が盆栽を育てていたり、趣味

や教養として盆栽に興味関心があつて盆栽を育て始めたりした者の中で、経験年数が長い者が多い傾向が見られ、また、家族や友人と一緒に盆栽を育てたり、手軽に始めたりした者の中にも、経験年数が長い者が多い傾向が見られる。

盆栽の魅力や興味関心については、盆栽を育て、仕立てていくことで変化していく姿や形は、経験年数を問わず魅力や興味関心として捉えられている一方、鉢合わせや盆栽に感じる四季など、長年盆栽を育てることによって初めてとらえることができる魅力や関心がある。

③分析結果のまとめ

盆栽の経験・体験の有無や、経験者や参加体験者、未経験者の盆栽への活動状況や興味関心の度合いを把握することを目的としてウェブアンケートを利用した調査を実施した。

調査結果からは、盆栽を育てたことがない者が圧倒的に多いことが分かった。未経験者が多いことについては、設問群の回答結果からも見えるように、盆栽に対して興味関心が持てなかった者がいる一方で、盆栽のことを知っていても、体験できる場がなかった、あるいは場や機会を知らなかった事情があったこと、そもそも盆栽を知らなかった者も一定数おり、その結果として参加体験に至らなかったことが明らかになった。

経験者の場合は親族等が盆栽を育てていた、あるいは趣味や教養として関心があったことをきっかけとして盆栽を育て始めた者が多い傾向にある。一方、参加体験者の場合は、親族等が育てていた他、学校や職場、公園や庭園等で盆栽を鑑賞する機会を得ており、経験者・参加体験者・未経験者のそれぞれに、盆栽を知る機会、接することができる機会や環境に大きな開きがあることが、調査結果の分析から見えてくる。

経験者の活動状況等については、約5割が継続しており、若い世代ほどに継続率が高く、経験年数が長いほどに継続している傾向にある。一方で、継続していない者が続けられなかった事情については、興味を失ったから辞めたという理由よりも、盆栽を育てる場所が維持できなくなった、あるいは育てるための時間がなくなった等の事情が大きく、回答者の環境を整えば再開する可能性があることも推察される。

参加体験者の活動状況等については、参加体験をしたきっかけと体験した機会のクロス集計から、文化施設等のイベントや盆栽園等が主催する体験会で体験機会を得たと回答比率が高い傾向にあるほか、親族等が盆栽を育てていた場合は自宅で体験機会を得ている場合もある。盆栽園を営む者等が文化施設のイベントや盆栽園で盆栽教室を開く等、盆栽体験の機会の醸成などを図っている事例もある。なお、参加体験者がこれまで盆栽を育て始めるに至らなかった理由や事情については、参加体験をしても興味関心を持てなかった者もいる一方で、興味関心があっても盆栽の育て方等に相談できる場所や人がいない等の事情があって始められなかった傾向にあり、盆栽の育て方などを相談できる機会などの提供や周知を行うことで、興味関心がある者が盆栽を育て始めるきっかけを醸成できる可能性があるかと推察される。

上記の結果から、学校や職場、公園や庭園、文化施設等でイベントや、盆栽園が開く盆栽教室等の体験機会を丁寧に周知していくことで、経験者や体験者を増やす可能性が広がるものと考えられる。また、盆栽の育て方などを相談することができる場所や機会などを、盆栽に興味関心がある者に対して適切に情報を伝えていくことも有効な取組として考えられる。